

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント 管理サイト ユーザーマニュアル iOS

最終更新日 2018 年 7 月 18 日

株式会社オプティム
(c)東日本電信電話株式会社

1	はじめに	3
2	iOS	4
2.1	設定テンプレート	5
2.1.1	設定テンプレート画面を表示する	5
2.1.2	デフォルトの設定テンプレートを指定する	6
2.1.3	(所属組織に従う)をデフォルトに設定にする	6
2.1.4	設定テンプレートの入力値	6
2.2	エージェント共通管理	7
2.2.1	エージェント共通管理画面を表示する	7
2.2.2	Jailbreak 状態検知を編集する	8
2.2.3	アクティベーションロックを編集する	8
2.2.4	エージェント共通管理の入力値	9
2.3	構成プロファイル	10
2.3.1	構成プロファイル画面を表示する	11
2.3.2	構成プロファイルの設定セット入力値	12
2.4	構成プロファイルアップロード	13
2.4.1	構成プロファイルアップロード画面を表示する	14
2.4.2	構成プロファイルをアップロードする	14
2.4.3	アップロード済みの構成プロファイルを編集する	15
2.4.4	構成プロファイルをダウンロードする	15
2.4.5	構成プロファイルアップロードの入力値	16
2.5	ローミング設定	28
2.5.1	ローミング設定画面を表示する	28
2.5.2	ローミング設定の設定セット入力値	29
2.6	ホーム画面レイアウト	30
2.6.1	ホーム画面レイアウト画面を表示する	30
2.6.2	Dock を編集する	32
2.6.3	Page1 を編集する	32
2.6.4	Page を新規作成する	33
2.6.5	ホーム画面レイアウトの入力値	33
3	iOS - アプリケーション	34
3.1	VPP ライセンス	35
3.1.1	VPP ライセンス画面を表示する	38
3.1.2	VPP ライセンスの設定セット入力値	41
3.2	VPP 設定テンプレート	42
3.2.1	VPP 設定テンプレート画面を表示する (アプリケーション)	43
3.2.2	VPP 設定テンプレート画面を表示する (書籍)	44
3.2.3	VPP 設定テンプレート入力値	45
3.3	管理対象アプリポリシー	46
3.3.1	管理対象アプリポリシー画面を表示する	46
3.3.2	管理対象アプリポリシーの設定セット入力値	47
3.4	オリジナルアプリ登録	48
3.4.1	オリジナルアプリ登録画面を表示する	48
3.4.2	オリジナルアプリを登録する	49
3.4.3	オリジナルアプリ登録の入力値	50
3.5	アプリケーション配信	51
3.5.1	アプリケーション配信画面を表示する	53
3.5.2	アプリケーション配信の設定セット入力値	55
3.6	アプリケーション検知	57
3.6.1	アプリケーション検知画面を表示する	57
3.6.2	アプリケーション検知の設定セット入力値	59
4	Apple Push 証明書	60
4.1	Apple Push 証明書登録	61
4.1.1	Apple Push 証明書を登録する	61
4.1.2	Apple Push 証明書を更新する	66
4.1.3	Apple Push 証明書を削除する	70

1 はじめに

本マニュアルは、管理サイトのメニュータブで iOS 機器に対して独自に提供している機能のマニュアルです。iOS 機器に対して独自に提供している機能は以下のとおりです。

2 iOS

iOS 機器に対する設定および、設定セットの作成を行います。「設定テンプレート」「構成プロファイル」「ローミング設定」「アプリケーション配信」「アプリケーション検知」に関しては、設定セットの作成後、機器一括設定および、機器ごとの設定にて適用してください。作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	ページ
設定テンプレート	5
エージェント共通管理	7
構成プロファイル	10
構成プロファイルアップロード	13
ローミング設定	28

2.1 設定テンプレート

設定テンプレートは複数の設定セットを1つにまとめたものです。設定テンプレートを適用すると含まれるすべての設定セットが適用されるため、機能ごとに設定セットを指定する必要はありません。頻繁に利用する設定セットを設定テンプレートとしてまとめておくことで、操作負荷を軽減させることができます。作成した設定テンプレートは、組織ごとまたは機器ごとの設定にて適用してください。

※設定テンプレートを一括して複数の機器に適用することはできません。

※設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

2.1.1 設定テンプレート画面を表示する

設定テンプレート画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [設定テンプレート]をクリックします。



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・新規作成：設定テンプレートを新規で作成します。 ・デフォルトの設定を元に新規作成：設定テンプレートを、既にデフォルトになっている設定を元に新規作成します。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる：全ての設定テンプレートのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす：全ての設定テンプレートのチェックボックスからチェックをはずします。 ・一括削除：チェックの入った設定テンプレートを削除します。
3	設定テンプレート一覧	登録されている設定テンプレート一覧が表示されます。
4	設定テンプレート情報	選択した機能により画面が切り替わります。設定テンプレート一覧より選択した設定テンプレート情報が表示されます。
5	テンプレート名	設定テンプレートの名称を指定します。
6	設定	設定テンプレートに含める設定セットを作成済みの設定セットより指定します。
7	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・複製：設定テンプレートを複製します。 ・削除：設定テンプレートを削除します。 ※管理者権限の場合は、サービス企業が作成した設定テンプレートでも[操作]タブが表示されます。
8	[編集]	登録されている設定テンプレート情報を編集することができます。

※新規作成、編集、削除方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

2.1.2 デフォルトの設定テンプレートを指定する

iOS のデフォルトの設定テンプレートの指定手順は Android 環境での指定手順と同一です。

詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「Android－設定テンプレート－デフォルトの設定テンプレートを指定する」を参照してください。

2.1.3 (所属組織に従う)をデフォルトに設定にする

iOS の(所属組織に従う)をデフォルトに設定する手順は Android 環境での指定手順と同一です。詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル Android」の「Android－設定テンプレート－(所属組織に従う)をデフォルトに設定にする」を参照してください。

2.1.4 設定テンプレートの入力値

設定テンプレートでは以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【テンプレート名】	設定テンプレートの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【設定】	設定テンプレートに含める設定セットを指定します。なお、含めた設定セットに対する編集および削除は、設定テンプレートにも自動的に反映されます。

2.2 エージェント共通管理

機器にインストールされている、全てのiOSエージェントに対して共通するルール設定を行うことができます。設定を保存した時点で、すべてのiOS機器に対して適用されます。

※設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

2.2.1 エージェント共通管理画面を表示する

エージェント共通管理画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [エージェント共通管理]をクリックします。

The screenshot shows the 'エージェント共通管理' (Agent Common Management) interface. It contains three main sections:

- Jailbreak状態検知** (Jailbreak Status Check): Includes a '検知する' (Check) button and an '編集' (Edit) button. This section is highlighted with a red box and labeled '1'.
- MDM構成プロファイル共通管理** (MDM Configuration Profile Common Management): Includes an 'アクティベーションロック許可しない' (Do not allow activation lock) option and an '編集' (Edit) button. This section is highlighted with a red box and labeled '2'.
- VPN共通管理** (VPN Common Management): Includes a 'VPNカスタムキー' (VPN Custom Key) section with a key input field and a '編集' (Edit) button. This section is highlighted with a red box and labeled '3'.

項番	対象	説明
1	Jailbreak 状態検知	検知する：iOS 端末が Jailbreak されているかの検知を行います。 検知しない：iOS 端末が Jailbreak されているかの検知を行いません。
2	アクティベーションロック	許可する：アクティベーションロックの有効化を許可します。 許可しない：アクティベーションロックの有効化を許可しません。 ※アクティベーションロック機能を有効化するには、iOS 端末で「iPhone を探す」設定を ON にし、同期する必要があります。
3	VPN カスタムキー	VPN のキーを入力します。

2.2.2 Jailbreak 状態検知を編集する

Jailbreak 状態検知を行うための設定を編集します。Jailbreak 状態検知とは、Jailbreak された iOS 機器を検知する機能です。検知した場合はログに出力されます。また、機器画面の機器タブにて確認することが可能です。入力項目に関しては、「エージェント共通管理の入力値」9 ページを参照してください。

1. エージェント共通管理画面を表示します。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

2.2.3 アクティベーションロックを編集する

アクティベーションロックの設定を編集します。

アクティベーションロックとは、Apple が提供している iPhone の盗難予防機能です。アクティベーションロックを有効にするには、Apple ID とパスワードが必要です。有効化した後、端末が紛失、盗難にあった場合でも、第三者は設定時の Apple ID とパスワードが分からなければ、端末の再アクティベーションなどはできません。これにより、端末紛失時・盗難時の悪用、情報漏えいを防ぐことができます。また、セキュリティが確保されることにより、端末を取り戻せる可能性が高くなります。

アクティベーションロックは、以下の流れで行います。

- ・ iOS 端末にて、「iPhone を探す」を ON にする。
(設定→iCloud→iPhone を探す→ON にする)
- ・ 管理画面にて、エージェント共通管理からアクティベーションロックの設定を有効にする。
(メニュー→(iOS)エージェント共通管理→アクティベーションロック→許可する)
- ・ 同期時にアクティベーションロックの設定が反映される。

入力項目に関しては、「エージェント共通管理の入力値」9 ページを参照してください。

※監視対象ではない端末に対しては、「iPhone を探す」設定を ON にすると、自動的に有効化されます。
ただし、管理サイトからの解除はできません。

1. エージェント共通管理画面を表示します。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※アクティベーションロック解除については、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作ー機器ーリモート操作ーiOS 機器の場合」を参照してください。

2.2.4 エージェント共通管理の入力値

エージェント共通管理では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【Jailbreak 状態検知】	Jailbreak 状態検知を行うかどうかを指定します。 ・ 検知する : Jailbreak 状態検知を行います。 ・ 検知しない : Jailbreak 状態検知を行いません。
【アクティベーションロック】	アクティベーションロックの有効化を許可するかどうかを指定します。 許可する : アクティベーションロックの有効化を許可します。 許可しない : アクティベーションロックの有効化を許可しません。
【VPN カスタムキー】	カスタムキーを記入してください。

2.3 構成プロファイル

構成プロファイルとは、Apple 社が提供している Apple Configurator 上で作成することができるプロファイルで、iPhone/iPad に対する制御や設定を行うことができます。当画面では、構成プロファイルアップロード画面(13 ページ)で管理サイト上にアップロードされた構成プロファイルを用いて設定セットを作成します。作成した設定セットは機器一括設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

※Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。

※既に構成プロファイルが適用されている機器に対して、構成プロファイルの再適用を行うと、後から配布した構成プロファイルで上書きされますのでご注意ください。ただし、後述の削除防止が設定された構成プロファイルは、上書きされません(削除するにはワイプまたは Apple Configurator2 での作業が必要です)。この場合、各構成プロファイルの内容が結合されて適用されます。同一の項目に対して複数の設定が存在する場合にどの設定を優先するかなど、結合方法の詳細については Apple 社の仕様に依存します。本製品では制御を行っておりません。

※構成プロファイル配信時、競合する(相反する)設定内容を適用しようとする OS の判断により、よりセキュアなものを採用します。もしくはインストールエラーが発生することがございます。

※構成プロファイルのアップロードについては以下を参照してください。

⇒構成プロファイルアップロード 13 ページ

※一括機器設定に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器－一括機器設定－一括して複数の機器に設定セットを適用する」

※機器ごとの設定に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－設定－単一の機器に設定テンプレートを適用する」

2.3.1 構成プロファイル画面を表示する

構成プロファイル画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [構成プロファイル]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 構成プロファイル

プロファイル名	削除防止
(+ボタンで追加: 1件まで)	

※「削除防止」を設定した場合、端末のポータルから手動で構成プロファイルをインストールしてください。
 ※「削除防止」から「削除禁止」を選択した場合は、端末から構成プロファイル削除することはできません。インストールした構成プロファイルを端末から削除するには、Apple社のApple Configurator 2を使用してください。
 ※「削除防止」から「パスワード」を選択した場合は、端末からパスワードを入力することで、構成プロファイルを削除できます。
 ※「削除防止」を有効から無効に変更する場合は、手動でインストールした構成プロファイルを端末から削除してください。構成プロファイルは上書きされません。

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	構成プロファイル	設定したい構成プロファイルを選択します。合わせて削除制限を指定します。 「削除禁止」を指定すると、このプロファイルがインストールされた端末からはプロファイルが削除できなくなります（端末の「設定」メニューの「一般」「プロファイル」の画面で削除用メニューが表示されなくなります。） 構成プロファイルのアップロード方法は「構成プロファイルアップロード」13 ページを参照してください。 ※1 設定あたり構成プロファイルは 10 件まで登録できます。構成プロファイルのアップロード数が 10 件未満の場合は、その数までしか登録できません。 ※[追加] をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] をクリックすると、入力欄が削除されます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

2.3.2 構成プロファイルの設定セット入力値

構成プロファイルでは以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。	
【構成プロファイル】	本設定セットで適用元とする構成プロファイルを指定します。複数指定が可能です。なお、削除防止を指定すると構成プロファイルのインストールに機器側の操作が必要となります。 ※  をクリックすることで、入力行が追加されます。 ※  をクリックすることで、入力行が削除されます。	
	プロファイル名	 をクリックすると構成プロファイルアップロード(13 ページ)で登録した構成プロファイルが表示されます。適用する構成プロファイルを指定してください。
	削除防止	削除禁止 パスワード 「削除防止」チェックボックスにチェックを入れることで指定可能となります。指定することで、構成プロファイルの削除方法を制限することが可能です。 「削除防止」チェックボックスにチェックを入れることで指定可能となります。合わせてパスワードを指定してください。指定することで、構成プロファイルの削除方法を制限することが可能です。指定した場合、入力必須です。255文字以下にしてください。半角英数字、「.」、「-」のみ入力できます。

作成方法に応じた構成プロファイルの削除方法は以下のとおりです。

構成プロファイルの種別	削除方法
通常の構成プロファイル (削除防止機能なし)	・ 機器一括設定または機器ごとの設定から「(設定なし)」を適用する。 ・ 機器から MDM 構成プロファイルを削除する(合わせて削除される)。
削除禁止を指定した構成プロファイル	・ ワイプまたは Apple Configurator2 にて削除してください。
パスワードを指定した構成プロファイル	・ 機器からパスワードを入力して削除する。

※MDM 構成プロファイルとは iOS 機器のライセンス認証を行った際にインストールされる構成プロファイルのことです。

2.4 構成プロファイルアップロード

「構成プロファイル(10 ページ)」で設定セットを作成する際に参照する構成プロファイルの設定を行います。当画面では、iOS 端末のパスコードや各種制限に関する多種多様な設定(「FaceTime を許可」、「iCloud での写真共有を許可」など)を簡単に作成することが可能です。

利用を推奨している Web ページ(自社 HP・ブックマーク)や、普段馴染みのない緊急連絡先・サポートデスクの電話番号の Web クリップを、お客さま指定のアイコンを適用して、管理している端末に配信できます。さらに、端末利用者による Web クリップ削除を禁止することも設定可能です。管理している端末には配信したブックマークが Web クリップとして表示され、端末利用者は少ないステップで目的のページにたどりつけます。

※Web クリップを配信していても、Web ページによっては、ページ内で指定されたアイコンが強制的に適応される場合があります。

本画面を使用することで、Apple 社が提供する「Apple Configurator」から作成されるペイロード(iOS 機器向けの設定セット)をインストールする必要なしに、管理サイトから設定セットを簡単に作成することが可能になります。

iOS 9.0 及び 9.1 の場合、端末に適用された構成プロファイルの「Web フィルタリング」機能の「許可された Web サイト」オプションに「アダルトコンテンツを制限」または「指定した Web サイトのみ」が指定されている場合、ポータルからこの端末に削除防止を設定された構成プロファイルをインストールする事はできません(この場合、構成プロファイルが適用されても、Safari 上での構成プロファイルのインストール画面に移行しません)。

削除防止を設定された構成プロファイルについては 10 ページ「構成プロファイル」の削除防止オプションを参照してください。

また、iOS 端末の[設定]→[一般]→[機能制限]→[コンテンツの許可]→[Web サイト]で「アダルトコンテンツを制限」もしくは「指定した Web サイトのみ」が指定されている場合、MDM ライセンス認証時に「※インストール画面が表示されない場合はこちらを押してください。」リンクが機能せず、MDM 構成プロファイルをインストールすることができません。

※1 企業がアップロード可能な構成プロファイルは 300 ファイルとなります。

※設定セットの作成については以下を参照してください。

⇒構成プロファイルの設定セット 10 ページ

2.4.1 構成プロファイルアップロード画面を表示する

構成プロファイルアップロード画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [構成プロファイルアップロード]をクリックします。



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると入力欄が表示されます。構成プロファイル新規作成方法は「構成プロファイルをアップロードする」14 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる：全ての構成プロファイルのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす：全ての構成プロファイルのチェックボックスからチェックをはずします。 ・一括削除：チェックの入った構成プロファイルを削除します。
3	構成プロファイル一覧	登録されている構成プロファイル名一覧が表示されます。
4	構成プロファイル情報	構成プロファイル一覧より選択した構成プロファイル情報が表示されます。
5	プロファイル名	設定セットの名称を指定します。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・削除：構成プロファイルを削除します。
7	[編集]	登録されている構成プロファイル情報を編集することができます。
8	[ダウンロード]	構成プロファイルのダウンロードを行うことができます。詳細は「構成プロファイルをダウンロードする」15 ページを参照してください。

※削除方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

2.4.2 構成プロファイルをアップロードする

構成プロファイルをアップロードします。Apple Configurator で作成済みのファイルを指定する方法と、管理サイト上で新規作成する方法があります。入力項目に関しては、「構成プロファイルアップロードの入力値」16 ページを参照してください。

1. 構成プロファイルアップロード画面を表示します。
2. [新規作成] をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。

また、新規作成画面内に Apple Configurator 公式ガイドへのリンクを設置していますのでご活用ください。

2.4.3 アップロード済みの構成プロファイルを編集する

アップロード済みの構成プロファイルを編集します。Apple Configurator で作成済みのファイルで上書きする方法と、管理サイト上で設定内容を変更する方法があります。アップロード済みの構成プロファイルは、管理／一般／パスコード／制限／Wi-Fi／その他の単位で設定値をまとめてあり、編集もこの単位で行います。本章に記載のない項目を設定する場合は、Apple Configurator で作成した構成プロファイルをアップロードしてください。入力項目に関しては、「構成プロファイルアップロードの入力値」16 ページを参照してください。

1. 構成プロファイル一覧より対象とする構成プロファイルをクリックします。
2. 目的のタブをクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。

また、編集画面内に Apple Configurator 公式ガイドへのリンクを設置していますのでご活用ください。

※Apple Configurator で作成したプロファイルも編集は可能ですが、Wi-Fi や Web クリップ等は値がそのまま残った状態で編集保存されます。パスコードおよび制限以外の編集はできませんので、ご注意ください。

※Apple Configurator で作成・アップロードしたプロファイルは、Web クリップ配信設定を 5 件以上含むと、管理サイトからの確認はできますが、編集は不可となりますので、ご注意ください。

2.4.4 構成プロファイルをダウンロードする

アップロード済みの構成プロファイルをダウンロードします。修正して再アップロードする場合にご利用ください。

1. 構成プロファイル一覧より対象とする構成プロファイルをクリックします。
2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に構成プロファイルを保存してください。

2.4.5 構成プロファイルアップロードの入力値

構成プロファイルアップロードでは以下の入力ルールで設定を行います。

※(*1) のついている項目は、監視対象端末（「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「はじめにー用語集」を参照）の場合のみ、適用されます。

※監視対象端末のみに適用される項目は、使用している端末の OS バージョンによって異なる場合がございます。

※(*2)の復旧方法については、以下の通りです。

【復旧方法】

(A)前提条件：SIM カードが利用可能な端末であること。

通信可能な SIM カードを入れてください。

通信が可能になったら正しい構成プロファイルを再配信してください。

(B)前提条件：構成プロファイルの「構成プロファイルのインストールを許可」が「はい」になっていること。

Mac と USB 接続等をして、Apple Configurator から、アクセスポイントの含まれる構成プロファイルを追加してください。

通信が可能になったら正しい構成プロファイルを再配信してください。

(C)前提条件：DEP 利用で「MDM 構成プロファイルの削除」を許可している、または DEP 端末以外であること。

MDM 構成プロファイルを削除し、再認証してください。

(D)前提条件：DEP 利用で「MDM 構成プロファイルの削除」を許可していない。

端末を初期化してください。

タブ	大項目名	ルール
【管理】	【プロファイル名】	設定セットの名称を指定します。 入力必須です。1 文字～30 文字で入力してください。
	【構成プロファイル】	《新規作成時》 アップロードする構成プロファイルを指定します。 - 空のプロファイルを新規作成：空のプロファイルをアップロードします。詳細設定は「アップロード済みの構成プロファイルを編集する」(15 ページ)で行います。 - ファイルをアップロード：Apple Configurator で作成済みのプロファイルをアップロードします。[参照]ボタンをクリックして、アップロードするファイルを指定してください。 ※インストール時にユーザー名やパスワードを求められる構成プロファイルはインストールすることができません。ユーザー名やパスワードの設定のない構成プロファイルを指定してください。 《編集時》 アップロードする構成プロファイルを指定します。 - 変更しない：構成プロファイルを変更しません。(編集をキャンセルすることと同じです) - ファイルをアップロード：Apple Configurator で作成済みのプロファイルで上書きします。[参照]ボタンをクリックして、アップロードするファイルを指定してください。
【一般】	【説明】	構成プロファイルの説明を入力してください。 入力必須です。1 文字～1000 文字で入力してください。
【パスコード】	【単純値を許可】	「する」をチェックすると、パスコードに連続する文字や反復する文字を使用することをユーザーに許可します。 (たとえば、「3333」や「DEFG」のようなパスコードが許可されます。)
	【英数字の値が必要】	「はい」をチェックすると、パスコードに少なくとも 1 つの英数字を含めることを強制します。
	【最小のパスコード長】	パスコードの最小文字数を指定します。以下より選択します。 (なし), 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16
	【複合文字の最小数】	パスコードに必要な、英数字以外の文字(\$、&、および !)の最小数を指定します。以下より選択します。 (なし), 1, 2, 3, 4

タブ	大項目名		ルール	
	【パスコードの最大有効期間 [日]】		指定した間隔(日数)でユーザーがパスコードを変更することを要求します。半角数字のみ入力できます。 0 以上 730 以下で入力してください。	
	【最大自動ロック時間[分]】		ユーザーが設定可能な、自動ロックまでの最大時間を指定します。 以下より選択します。 (なし), 1, 2, 3, 4, 5, 10, 15	
	【パスコード履歴】		新しいパスコードが以前に使用したパスコードと一致した場合、そのパスコードは受け入れられません。この設定では、受け入れ禁止として記憶するパスコードの数を指定します。半角数字のみ入力できます。 0 以上 50 以下で入力してください。	
	【デバイスロックの最大猶予 期間】		ユーザーが設定可能な、パスコード入力を行わずにロックを解除できるまでの最大時間を指定します。以下より選択します。 即時, 1 分, 5 分, 15 分, 1 時間, 4 時間	
	【入力を失敗できる回数】		ロック解除の際、試行できるパスコード誤入力の回数を決定します。 以下より選択します。 (なし), 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10	
【制限】	【機能】	【デバイスの 機能】	App のインストール を許可	このオプションをオフにすると、App Store は無効になり、アイコンがホーム画面から削除されます。 ユーザーは、App Store や「iTunes」を使って App をインストールしたり、アップデートしたりすることはできません。
			App Store からの App インストールを許可 (*1)	このオプションをオフにすると、端末の App Store は無効になり、アイコンがホーム画面から削除されます。ただし、MDM や iTunes(Mac/Windows)からのアプリインストール/アンインストールは可能です。また、インストール済みアプリをアップデートするには、iTunes に接続してください。設定可能なバージョン： iOS 9.0 以降。
			App の自動ダウン ロードを許可 (*1)	このオプションをオフにすると、他のデバイスで購入されたアプリの自動ダウンロードを防止します。既にインストールされたアプリとデフォルトアプリの更新は防止されません。 設定可能なバージョン： iOS 9.0 以降。
			カメラの使用を許可	このオプションをオフにすると、カメラは完全に無効になり、カメラアイコンがホーム画面から削除されます。 ユーザーは写真やビデオを撮ったり、「FaceTime」を使ったりすることができません。
			FaceTime を許可	このオプションをオフにすると、ユーザーは FaceTime ビデオコールの配置または受信ができません。
			スクリーンショット を許可	このオプションをオフにすると、ユーザーはディスプレイのスクリーンショットを保存できません。
			ローミング中の自動 同期を許可	このオプションをオフにすると、ユーザーがアカウントにアクセスしているときに限りローミング中の機器が同期されます。
			Siri を許可	このオプションをオフにすると、ユーザーは Siri、音声コマンド、または読み上げを使用できません。
			デバイスのロック中 に Siri を許可	このオプションをオフにすると、ユーザーはパスコードを使って機器のロックを解除しないと Siri を使用できなくなります。
			Siri の不適切な単語 フィルタを有効にする (*1)	このオプションをオフにすると、不適切な単語がフィルタリングされなくなります。

タブ	大項目名		ルール
			Siri にユーザー生成コンテンツを表示 (*1) このオプションをオフにすると、ユーザーは独自のコンテンツを Siri に追加できなくなります。
			音声ダイヤルを許可 このオプションをオフにすると、ユーザーは音声コマンドを使って電話をかけることができません。
			ロック画面での Wallet 通知を許可 このオプションをオフにすると、ロックされている間は機器に Wallet 通知が表示されなくなります。
			App 内課金を許可 このオプションをオフにすると、ユーザーは App 内で購入することができません。
			購入時に常に iTunes Store パスワードを要求 ユーザーは購入の前に常に Apple ID パスワードの入力を求められます。通常、次の購入時の認証までには短い猶予期間が設けられます。
			Touch ID によるデバイスのロック解除を許可 このオプションをオフにすると、ユーザーはデバイスのロックを解除するためにパスコードを入力する必要があります。
			ロック画面にコントロールセンターを表示 このオプションをオフにすると、ユーザーは上にスワイプしてコントロールセンターを表示できなくなります。
			ロック画面に通知センターを表示 このオプションをオフにすると、画面がロックされている場合にユーザーは通知を受信できなくなります。
			ロック画面に今日表示を表示 このオプションをオフにすると、ユーザーは下にスワイプして今日表示を使用する通知センターをロック画面で表示できなくなります。このオプションをオンにすると、ロック画面に本日日付が表示されます。
			強制的に追跡型広告を制限 このオプションをオンにすると、App で広告識別子(非永続的、デバイス識別子)を使用してターゲット広告を表示することが禁止されます。
			Handoff を許可 このオプションをオフにすると、Handoff 機能が使用できなくなります。
			Spotlight でインターネット検索結果を許可 このオプションをオフにすると、Spotlight によるインターネット検索が使用できなくなります。
			最初の AirPlay ペアリングでパスコードを要求 このオプションをオンにすると、最初の AirPlay ペアリングにおいて端末のパスコードが要求されます。
			モバイルデータ通信 App 設定の変更を許可 (*1) このオプションをオフにすると、モバイルデータ通信 App 設定を変更できなくなります。
			アカウント設定の変更を許可 (*1) このオプションをオフにすると、ユーザーは新規アカウントの作成も、ユーザー名、パスワード、およびアカウントに関連付けられているその他の設定の変更もできなくなります。
			Bluetooth 設定の変更を許可 (*1) このオプションをオフにすると、ユーザーは Bluetooth の設定を変更できなくなります。
			"友達を探す"設定の変更を許可 (*1) このオプションをオフにすると、ユーザーは「友達を探す」App の設定を変更できなくなります。
			構成プロファイルのインストールを許可 (*1) このオプションをオフにすると、ユーザーは各自のデバイスに追加の構成プロファイルをインストールできなくなります。
			"すべてのコンテンツと設定を消去"を許可 (*1) このオプションをオフにすると、端末のリセット機能「すべてのコンテンツと設定を消去」が使用できなくなります。

タブ	大項目名		ルール
			自動修正を許可 (*1) このオプションをオフにすると、キーボードの自動修正機能が無効になります。設定可能なバージョン：iOS 8.1.3 以降。
			定義を許可(*1) このオプションをオフにすると、単語の定義の検索機能が無効になります。設定可能なバージョン：iOS 8.1.3 以降。
			予測表示キーボードを許可 (*1) このオプションをオフにすると、予測入力キーボードが無効になります。設定可能なバージョン：iOS 8.1.3 以降。
			スペルチェックを許可 (*1) このオプションをオフにすると、キーボードのスペルチェックが無効になります。設定可能なバージョン：iOS 8.1.3 以降。
			デバイス名の変更を許可(*1) このオプションをオフにすると、デバイス名の変更を防ぐことができます。設定可能なバージョン：iOS 9.0 以降。
			Apple Watch とのペアリングを許可(*1) このオプションをオフにすると、アップルウォッチとのペアリングを無効にします。既存のペアリングは無効になり、Apple Watch は初期化されます。設定可能なバージョン：iOS 9.0 以降。
			壁紙の変更を許可 (*1) このオプションをオフにすると、壁紙の変更を防ぐことが出来ます。設定可能なバージョン：iOS 9.0 以降。
	【アプリケーション】	AirDrop を許可 (*1)	このオプションをオフにすると、ユーザーは App で AirDrop を使用できなくなります。
		iBooks Store を許可 (*1)	このオプションをオフにすると、iBooks Store が無効になり、ユーザーが「iBooks」App から iBooks Store にアクセスできなくなります。
		iMessage を許可 (*1)	このオプションをオフにすると、iMessage を使用したメッセージの送受信ができなくなります。お使いのデバイスがテキストメッセージに対応している場合、テキストメッセージの送受信はできます。お使いのデバイスがテキストメッセージに対応していない場合は、ホーム画面から「メッセージ」アイコンが削除されます。
		Apple Music を許可 (*1)	このオプションをオフにすると、ユーザーはミュージックアプリ内の Apple Music に関連する機能を使用できなくなります。
		App の削除を許可 (*1)	このオプションをオンにすると、ユーザーは App を削除できるようになります。App Store や「iTunes」など、iOS に付属している App をユーザーが削除することはできません。
	【iCloud】	バックアップを許可	このオプションをオンにすると、ユーザーは機器から iCloud にバックアップを作成できます。
		書類とデータを許可	このオプションをオンにすると、ユーザーは iCloud に書類を保存できます。
		自分のフォトストリームを許可 (許可しないとデータ損失の可能性あり)	このオプションをオンにすると、ユーザーはフォトストリームを有効にできます。 この機能制限を使って構成プロファイルをインストールすると、ユーザーの機器からフォトストリームの写真が消去され、「カメラロール」の写真がフォトストリームに送信されなくなります。写真のコピーがない場合、これらの写真は失われます。
		iCloud での写真共有を許可	このオプションをオンにすると、ユーザーは他の人に自分の写真を見るよう勧めたり、他の人が共有しているフォトストリームを表示したりできます。

タブ	大項目名		ルール
			iCloud キーチェーンを許可 このオプションをオフにすると、iCloud キーチェーンは使用されなくなります。
			iCloud フォトライブラリを許可 このオプションをオフにすると、iCloud のフォトライブラリを無効にします。iCloud のフォトライブラリが無効に設定された場合、ローカルストレージから iCloud のフォトライブラリの画像が削除されます。設定可能なバージョン： iOS 9.0 以降。
	【セキュリティとプライバシー】	Apple への診断情報と使用状況データの送信を許可	このオプションをオフにすると、Apple に iOS の診断情報が送信されません。
		信頼されていない TLS 証明書の受け入れをユーザに許可	このオプションをオフにすると、検証できない証明書をユーザーが許可しようとする場合に、ユーザーに確認を求めません。この設定は「Safari」および「メール/連絡先/カレンダー」アカウントに適用されます。
		証明書信頼設定の自動アップデートを許可	このオプションをオンにすると、iOS デバイスは既知の信頼できる証明書の信頼設定変更を自動的に受け入れるようになります。
		管理対象外出力先で管理対象ソースからの書類を許可	「管理対象ソース」とは[その他]の[ドメイン]タブ内の「管理対象の Safari Web ドメイン」(25 ページ)で指定された Web サイトのコンテンツです。PDF 形式などのコンテンツを Safari からアクセスする際に、Safari の画面下部に Safari 以外の外部アプリからコンテンツを開くメニュー画面が表示される場合があります。 このオプションをオフにすると、管理サイトで非管理対象として配信したアプリ、もしくは手動で AppStore からインストールしたアプリ(管理対象外出力先)は、Safari の外部アプリケーションの一覧に表示されなくなります。 つまり、管理対象外出力先のアプリから、「管理対象の Safari Web ドメイン」で指定されたコンテンツにはアクセスすることができなくなります。この設定により、Safari を経由した外部アプリケーションの起動を制限することが可能ですが、外部アプリケーションから直接 URL を入力する場合など、Safari を経由しないコンテンツアクセスは制御されません。
		管理対象出力先で管理対象外ソースからの書類を許可	このオプションをオフにすると、管理対象外 App で作成した書類を管理対象 App で開けなくなります。
		管理対象 App が iCloud にデータを保存することを許可	このオプションをオフにすると App による iCloud へのデータ保存が禁止されます。
		Apple Watch の手首検出を強制	このオプションをオンにすると、ペアリングされた Apple Watch は手首の検出を使用するように強制されます。設定可能なバージョン： iOS 8.2 以降
		AirDrop を管理対象外として扱う	このオプションをオンにすると、AirDrop は管理対象外となります。さらに厳密にダウンロード対象を管理するには[制限]タブの「管理対象外出力先で管理対象ソースからの書類を許可」(20 ページ)、「管理対象出力先で管理対象外ソースからの書類を許可」(20 ページ)を設定する必要があります。 設定可能なバージョン： iOS 9.0 以降。

タブ	大項目名		ルール
			新しいエンタープライズ App 証明書の信頼を許可
			このオプションをオフにすると、新しいエンタープライズ App 証明書を信頼することができなくなります。すでに信頼済みの証明書に関しては本設定をオフにしても引き続き利用できます。また、その場合、信頼済みの証明書と同じ証明書を利用しているエンタープライズアプリ(InHouse アプリ、オリジナルアプリ)も利用できます。設定可能なバージョン： iOS 9.0 以降
			Configurator 以外のホストとのペアリングを許可 (*1)
			このオプションをオンにすると、デバイスを任意の Mac と同期することができます。
			制限の構成を許可 (*1)
			このオプションをオフにすると、端末の[設定]メニューの[機能制限を設定]が使用できなくなります。
			パスコード変更を許可 (*1)
			このオプションをオフにすると、デバイスのパスコードを追加、変更、または削除を防ぐことができます。設定可能なバージョン： iOS 9.0 以降。
			Touch ID 指紋の変更を許可 (*1)
			このオプションをオフにすると、Touch ID に登録された指紋の追加・変更・削除ができなくなります。
			プロファイルによってインストールされた Wi-Fi のみに接続 ※誤った Wi-Fi 設定を端末へ反映させた場合、Wi-Fi 通信ができなくなってしまうため、十分ご注意ください。 (*1)
			このオプションをオンにすると、構成プロファイルにて登録済みの Wi-Fi のみにアクセス可能となります。 設定可能なバージョン： iOS 10.3 以降。 ※Wi-Fi のみを利用している端末にて、Wi-Fi のアクセスポイントを一つも登録していない状態で、このオプションをオンにした構成プロファイルをインストールした場合は、同期ができなくなります。 この場合は、(*2)の復旧方法で再度同期が可能になります。 条件が揃っていない場合は、端末の初期化を行うしか方法がなくなりますのでご注意ください。 (*2)については 16 ページを参照してください。
	【App】		iTunes Store の使用を許可
			このオプションをオフにすると、iTunes Store は無効になり、アイコンがホーム画面から削除されます。ユーザーはコンテンツをプレビュー、購入、およびダウンロードできません。
			Podcast の使用を許可(*1)
			このオプションをオフにすると、Podcast が無効になります。
			Game Center の使用を許可 (*1)
			このオプションをオフにすると、Game Center が無効になります。
			マルチプレーヤーゲームを許可(*1)
			このオプションをオフにすると、ユーザーは Game Center でマルチプレーヤーゲームをプレイできません。
			Game Center の友人の追加を許可
			このオプションをオフにすると、ユーザーは Game Center に友達を追加できません。
			Safari の使用を許可
			このオプションをオフにすると、Safari Web ブラウザー App は無効になり、アイコンがホーム画面から削除されます。ユーザーが Web クリップを開くこともできなくなります。
			自動入力を有効にする
			このオプションをオフにすると、「Safari」はユーザーが Web フォームに入力した値を記憶しません。
			強制的に詐欺警告
			このオプションをオフにすると、「Safari」は不正または欠陥があると判断された Web サイトへのアクセスを禁止しません。

タブ	大項目名		ルール	
			JavaScript を有効にする	このオプションをオフにすると、「Safari」は Web サイト上のすべての Javascript を無視します。
			ポップアップを開かない	このオプションをオフにすると、「Safari」のポップアップブロック機能が無効になります。
			Cookie の受け入れ	以下より選択します。 ・常にブロック ・アクセス中の Web サイトのみ許可 ・訪問した Web サイトは許可 ・常に許可
			App の使用制限(監視対象のみ)	以下より選択します。 ・一部の App を許可しない ・一部の App のみを許可 ・すべての App を許可 一部の App の許可もしくは禁止を選択すると、対象のアプリケーションを指定する欄が表示されます。指定できるアプリケーションの上限は 300 件です。 アプリケーションの指定は、アプリケーション ID(Bundle ID)で行います。Store ID ではありませんので、注意してください。 アプリケーション ID の確認については、以下を参照してください。 ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－アプリ」 ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器－アプリケーションレポート」 ※以下の Apple 社が提供するアプリケーションは禁止することはできません。 ・設定、電話
	【メディアコンテンツ】	【レーティングの地域】	レーティングの地域を以下より選択します。 ・アメリカ ・オーストラリア ・カナダ ・ドイツ ・フランス ・アイルランド ・日本 ・ニュージーランド ・イギリス	
【許可されるコンテンツレーティング】		ムービー	「レーティングの地域」で選択された国のレーティングの一覧から適切なレーティングを以下より選択します。 ・ムービーを許可しない ・G ・PG-12 ・R-15 ・R-18 ・すべてのムービーを許可	
		テレビ番組	「レーティングの地域」で選択された国のレーティングの一覧から適切なレーティングを以下より選択します。 ・テレビ番組を許可しない ・Explicit Allowed ・すべてのテレビ番組を許可	

タブ	大項目名		ルール	
			App	以下より選択します。 ・ App を許可しない ・ 4+ ・ 9+ ・ 12+ ・ 17+ ・ すべての App を許可
		【コンテンツレーティング】	不適切な内容の音楽、Podcast、および iTunes U メディアを許可	このオプションをオフにすると、iTunes Store 内の不適切な内容の音楽やビデオコンテンツが隠されます。不適切な内容には、コンテンツプロバイダによってフラグが設定されています。
			iBooks Store で不適切な性的描写のあるブックの閲覧を許可	このオプションをオフにすると、iBookstore のアダルト向けコンテンツが隠されます。不適切な内容には、コンテンツプロバイダによってフラグが設定されています。
【Wi-Fi】	※[Wi-Fi]タブにおける設定は、Wi-Fi 設定を端末へ反映させる機能であり、通信手段を制限させる機能ではありません。ユーザーが端末の[設定][Wi-Fi]画面からプロキシ設定を手動で変更した場合、本タブでの設定が上書きされます。			
	SSID (サービスセット識別子)	入力必須です。利用する Wi-Fi ネットワークの SSID を入力してください。		
	非公開ネットワーク	非公開ネットワークの場合はチェックします。		
	自動接続	自動接続を行う場合はチェックします。		
	プロキシ設定	なし、手動、自動から選択。		
	プロキシサーバーの URL	プロキシ設定が「自動」な場合、入力必須です。プロキシ設定を定義している PAC ファイルの URL。		
	PAC が到達不能の場合に直接接続を許可	プロキシ設定が「自動」な場合のみ。このオプションをオフにすると、PAC ファイルに到達できない場合、デバイスはデスティネーションに直接接続できません。		
	プロキシサーバー	プロキシ設定が「手動」な場合、入力必須です。アドレスを文字列として入力。		
	プロキシサーバーポート	プロキシ設定が「手動」な場合、入力必須です。半角数字のみ入力できます。		
	プロキシユーザー名	プロキシ設定が「手動」な場合のみ。プロキシサーバの認証に用いるユーザ名を入力します。		
	プロキシパスワード	プロキシ設定が「手動」な場合のみ。プロキシサーバの認証に用いるパスワードを入力します。		
	セキュリティの種類	Wi-Fi のセキュリティを設定します。「なし」、「WEP」、「WPA/WPA2 パーソナル」、「WPA2 パーソナル」、「任意(パーソナル)」のいずれかを指定します。		
	パスワード	Wi-Fi のセキュリティのパスワードを設定します。「セキュリティの種類」が「なし」以外の場合にパスワードを設定します。		
【その他】	【メール】	※本画面のメール設定にはパスワードの設定は含まれないため、ユーザーはメーラーの起動時にパスワードを手動で入力する必要があります。		
	アカウントの説明	電子メールアカウントの説明を、人が読める形の文字列で指定します。これが「Mail and Settings」アプリケーションに表示されます。		
	アカウントの種類	このアカウントが利用するプロトコルを定義します。以下より選択します。 ・ POP ・ IMAP		
	パスの接頭辞	パスの接頭辞を文字列として入力してください。		
	ユーザー情報	所属ユーザーの情報を利用するか選択します。		
	ユーザ表示名	アカウントの完全ユーザ名を文字列として入力してください。送信メッセージなどに埋め込まれます。		
	メールアドレス	アカウントの完全電子メールアドレスを文字列として入力してください。ペイロードに指定がなければ、プロファイルのインストール時に尋ねられます。		
	ユーザがこのアカウントからメッセージを移動することを許可	このオプションをオフにすると、メールアカウント間でメールメッセージを移動できなくなります。		
	最近使ったアドレスの同期を許可	このオプションをオフにすると、最近使ったアドレスがデバイス間で同期されなくなります。		

タブ	大項目名	ルール
	Mail のみで使用	このオプションをオンにすると、このアカウントから他社製アプリケーションでメールを送信することはできません。
	メールサーバ(受信)	受信メールサーバのホスト名(または IP アドレス)を文字列として入力してください。
	ポート(受信)	受信メールサーバのポート番号を半角数字として入力してください。
	ユーザ名(受信)	電子メールアカウントのユーザ名を文字列として入力してください。
	認証のタイプ(受信)	受信メールの認証スキームを表します。以下より選択します。 なし パスワード MD5 チャレンジ応答 NTLM HTTP MD5 ダイジェスト
	パスワード(受信)	受信メールサーバのパスワードを文字列として入力してください。
	SSL を使用(受信)	受信メールサーバが認証用に SSL を利用するか否かを指定します。
	メールサーバ(送信)	受信メールサーバのホスト名(または IP アドレス)を文字列として入力してください。
	ポート(送信)	受信メールサーバのポート番号を半角数字として入力。
	ユーザ名(送信)	電子メールアカウントのユーザ名を文字列として入力してください。
	認証のタイプ(送信)	送信メールの認証スキームを指定します。以下より選択します。 なし パスワード MD5 チャレンジ応答 NTLM HTTP MD5 ダイジェスト
	送信パスワードを受信パスワードと同じにする	送信パスワードを受信パスワードと同じにするか選択します。
	パスワード(送信)	送信メールサーバのパスワードを文字列として入力してください。
	SSL を使用(送信)	送信メールサーバが認証用に SSL を利用するか否かを指定します。
	【証明書】	証明書ファイル
		アップロードする証明書を指定します。[参照]をクリックして、アップロードする証明書を選択してください。 なお、アップロードには PEM または DER 形式の証明書を指定してください
【グローバル HTTP プロキシ】	【タイプ】 (*1)	以下より選択します。認証の必要なプロキシでは「手動」を使用します。 手動,自動
	【プロキシサーバのドメイン名】 (*1)	【タイプ】が「手動」の場合、入力必須です。半角英数字と記号のみ入力できます。
	【ポート】 (*1)	【タイプ】が「手動」の場合、入力必須です。半角数字のみ入力できます。 0 以上 65535 以下で入力してください。
	【ユーザー名】 (*1)	【タイプ】が「手動」の場合のみ。 半角英数字と記号のみ入力できます。 1 文字～255 文字で入力してください。
	【パスワード】 (*1)	【タイプ】が「手動」の場合のみ。 半角英数字と記号のみ入力できます。 1 文字～255 文字で入力してください。
	プロキシ PAC の URL	【タイプ】が「自動」の場合のみ。 半角英数字と記号のみ入力できます。 1 文字～255 文字で入力してください。
	PAC が到達不能の場合に直接接続を許可	【タイプ】が「自動」の場合のみ。 このオプションをオフにすると、PAC ファイルに到達できない場合、デバイスはデスティネーションに直接接続できません。
	【キャプティブネットワークにアクセスするためにプロキシのバイパスを許可】 (*1)	このオプションをオンにすると、iOS デバイスは既知のワイヤレスネットワークにアクセスするためにプロキシ設定を無視できます。
【Web フィル	本設定は監視対象である端末のみ適用できます。監視対象外端末で適用した場合、設定に失敗します。	

タブ	大項目名	ルール
タリング	【許可された Web サイト】(*1)	ブラウザを非アダルトコンテンツに制限し、許可された URL のリストを提供するか、特定の Web サイトのみに制限する場合に以下より選択します。 ・アダルトコンテンツを制限 ・指定した Web サイトのみ
	【許可された URL】(*1)	【許可された Web サイト】で「アダルトコンテンツを制限」を選択した場合、入力必須です。 このリストに URL を追加すると、その Web サイトが自動フィルターによってアダルトと見なされた場合でもアクセスが許可されます。このリストを空のままにすると、「ブラックリストにある URL」にリストされているものを除いて、すべての非アダルト Web サイトへのアクセスが許可されます。 1 文字～255 文字で入力してください。 制御文字は入力しないでください。 1000 件以下にしてください。 重複しないものを入力してください。 http://または https://で始めてください。
	【ブラックリストにある URL】(*1)	【許可された Web サイト】で「アダルトコンテンツを制限」を選択した場合、入力必須です。 特定の Web サイトへのアクセスを拒否するには、サイトの URL をこのリストに追加します。ユーザーはこれらのサイトにはアクセスできません(自動フィルターによって非アダルトと見なされた場合でも)。 1 文字～255 文字で入力してください。 制御文字は入力しないでください。 1000 件以下にしてください。 重複しないものを入力してください。 http://または https://で始めてください。
	【指定した Web サイト】(*1)	【許可された Web サイト】で「指定した Web サイトのみ」を選択した場合、アクセスを許可したい Web サイトを追加します。「URL」列に Web サイトの URL を入力します。「名前」列にブックマークの名前を入力します。
		URL 【許可された Web サイト】で「指定した Web サイトのみ」を選択した場合、入力必須です。 1 文字～255 文字で入力してください。 制御文字は入力しないでください。 http://または https://で始めてください。
		名前 1 文字～30 文字で入力してください。 制御文字は入力しないでください。
		ブックマーク 1 文字～255 文字で入力してください。 制御文字は入力しないでください。
	【ドメイン】	マークされていないメールアドレスは「メール」でマークされます。 リストとして追加してください。
	管理対象の Safari Web ドメイン	[制限]タブの「管理対象外出力先で管理対象ソースからの書類を許可」(20 ページ)が有効な場合に、管理対象となる Web コンテンツの URL を指定します。管理対象のコンテンツは、Safari からのアクセス時に外部アプリの起動を制限されます。詳細は「管理対象外出力先で管理対象ソースからの書類を許可」(20 ページ)を参照してください。 リストとして追加してください。
	【VPN】	入力項目の詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作—機器—VPN 設定(iOS 機器のみ)」も参考にしてください。
	【VPN ホスト】	入力必須です。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。

タブ	大項目名	ルール	
	【接続タイプ】	以下より選択 ・ L2TP ・ PPTP ・ IPSec (Cisco) ・ Cisco AnyConnect ・ Juniper SSL(Junos Pulse) ・ カスタム SSL	
	【ユーザー認証方法】	以下より選択 ・ パスワード ・ RSA SecurID ・ パスワード ・ 証明書 ・ パスワード+証明書	
	【ユーザーアカウント】	255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	
	【ユーザーパスワード】	255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	
	【共有シークレット】	255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	
	【接続設定】	全てのネットワークトラフィックを VPN 接続経由で送信する	チェックを入れる。 入れない。
	【プロキシ設定】	以下より選択 ・ なし ・ 手動 ・ 自動	
	【プロキシサーバーおよびポート番号】	プロキシ設定で手動を選択した場合、入力必須です。 プロキシサーバー： 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。 ポート番号： 半角数字のみ入力できます。 0 以上 65535 以下を指定してください。	
	【プロキシ接続ユーザー名】	255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	
	【プロキシ接続パスワード】	255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	
	【プロキシ設定取得 URL】	255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	
	【暗号化レベル】	以下より選択 ・ なし ・ 自動 ・ 最大 (128bit)	
	【コンピュータ認証】	以下より選択 ・ 証明書 ・ 共有シークレット／グループ名	
	【固有名証明書】	コンピュータ認証で証明書を選択した場合、必ず選択してください。 プルダウンメニューから登録済みの証明書を選択します。	
	【証明書設定】	ユーザーPIN を含む	チェックを入れる。 入れない。
	【グループ名】	255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。	
	【認証設定】	以下より選択(複数選択可) ・ ハイブリッド認証を使用する ・ パスワードの入力を要求する	
	【Web クリップ】	【ラベル】	Web クリップの名称を指定します。 入力必須です。 制御文字は入力できません。 255 文字以内で入力してください。

タブ		大項目名	ルール
		【URL】	配信用のページの URL を指定します。 入力必須です。 制御文字は入力できません。 255 文字以内で入力してください。 ※URL 以外に、電話番号や URL スキームの指定も可能です。
		【アイコン】	ファイルサイズは、10KB より大きいサイズには対応していません。 GIF、JPEG、PNG 形式を指定してください。
		【作成済みアイコン】	視覚エフェクトなしでアイコンを表示する場合にチェックします。
		【フルスクリーン】	Web クリップをフルスクリーンアプリケーションとして表示する場合にチェックします。

2.5 ローミング設定

音声ローミングやデータローミングの有効/無効を設定する機能です。

2.5.1 ローミング設定画面を表示する

ローミング設定画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [ローミング設定]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 音声ローミング設定 ※iOS 5.0以降のみ対応
☒ 有効にする
☐ 無効にする

3 データローミング設定 ※iOS 5.0以降のみ対応
☒ 有効にする
☐ 無効にする

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	音声ローミング設定	有効にする：音声ローミング設定を有効にします。 無効にする：音声ローミング設定を無効にします。
3	データローミング設定	有効にする：データローミング設定を有効にします。 無効にする：データローミング設定を無効にします。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

2.5.2 ローミング設定の設定セット入力値

ローミング設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【音声ローミング設定】	音声ローミングの有効／無効を指定します。 ・有効にする：音声ローミングを行います。 ・無効にする：音声ローミングを行いません。
【データローミング設定】	データローミングの有効／無効を指定します。 ・有効にする：データローミングを行います。 ・無効にする：データローミングを行いません。

2.6 ホーム画面レイアウト

iOS 端末のホーム画面レイアウトを管理者から指定及び固定することで、キッティング作業や運用の手間を削減する機能です。

※iOS9.3 以上の監視対象端末のみ利用できます。

※本機能でレイアウト指定したアプリケーション以外は、配置可能箇所に順次配置されます。iOS 端末でのアプリケーションの並び替えやフォルダに入れる等の操作はできません。

※本機能で Web クリップのレイアウトを指定することはできません。

※使用できるアプリケーションを制限せずに本機能を利用すると、iOS 端末利用者の利便性を損なう恐れがあります。構成プロファイルアップロードで App 使用制限(監視対象のみ)と併せてご利用になることをお勧めします。

詳細については、「構成プロファイルアップロード」13 ページを参照してください。

2.6.1 ホーム画面レイアウト画面を表示する

ホーム画面レイアウト画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [ホーム画面レイアウト（監視対象のみ）]をクリックします。

 test

※監視対象端末にのみ、下記の設定が有効になります。

設定

操作 ▼

設定

1 設定名

test

編集

2 Dock

1	アプリケーション	アプリケーションID com.apple.mobilemail
---	----------	------------------------------------

編集

3 Page 1

1	アプリケーション	アプリケーションID com.apple.calculator
2	フォルダー	詳細

編集

削除

4 Page 2

新規作成

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	Dock	Dock の設定を行います。詳細は 32 ページを参照してください。
3	Page 1	ホーム画面 1 ページ目のアプリケーション配置設定を行います。詳細は 32 ページを参照してください。
4	Page 2	2 ページ目以降の設定を追加します。詳細は 33 ページを参照してください。 ※新規作成するとパネル名が Page3、Page4・・・という表示になります。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

2.6.2 Dock を編集する

Dock のレイアウトを編集します。

※iPhone 端末に配置できる数は 4 つまでです。

1. ホーム画面レイアウト画面を表示します。
2. Dock パネルの[編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※プリインストールアプリのアプリケーション ID は [こちら]をクリックすると一覧が表示されます。

※フォルダーを指定した場合は、[編集]をクリックしてフォルダー画面を表示します。フォルダー名を入力し、フォルダー内に配置するアプリケーションのアプリケーション ID を入力します。

2.6.3 Page1 を編集する

Page のレイアウトを編集します。

1～24 までの行が表示され、それぞれにフォルダーまたはアプリケーションが指定できます。iOS 端末では 1 から順番に左上からフォルダーまたはアプリケーションが配置されます。

※Page を新規作成（32 ページ）して、Page2、Page3・・・とパネルが追加された場合は、各ページのパネルから同様に編集を行ってください。

※端末によって 1Page あたりの配置可能アプリケーション数は異なります。配置可能数を超えて設定をした場合、超過したものは次の Page に配置されます。

1. ホーム画面レイアウト画面を表示します。
2. Page1 パネルの[編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※プリインストールアプリのアプリケーション ID は [こちら]をクリックすると一覧が表示されます。

※フォルダーを指定した場合は、[編集]をクリックしてフォルダー画面を表示します。フォルダー名を入力し、フォルダー内に配置するアプリケーションのアプリケーション ID を入力します。

2.6.4 Page を新規作成する

レイアウトの設定を行う Page を新規作成します。新規作成するとホーム画面レイアウト画面に、Page2、Page3・・・とパネルが追加され、以降のパネル名が Page3、Page4・・・という表示になります。

※端末によって 1Page あたりの配置可能アプリケーション数は異なります。配置可能数を超過して設定をした場合、超過したものは次の Page に配置されます。

1. ホーム画面レイアウト画面を表示します。
2. Page パネルの[新規作成]をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※プリインストールアプリのアプリケーション ID は [こちら]をクリックすると一覧が表示されます。

※フォルダーを指定した場合は、[編集]をクリックしてフォルダー画面を表示します。フォルダー名を入力し、フォルダー内に配置するアプリケーションのアプリケーション ID を入力します。

2.6.5 ホーム画面レイアウトの入力値

項目名	ルール	
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。	
【Dock】	アプリケーション	アプリケーション ID を入力してください。
	フォルダー	フォルダー名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。 アプリケーション ID を入力してください。
【Page1】	アプリケーション	アプリケーション ID を入力してください。
	フォルダー	フォルダー名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。 アプリケーション ID を入力してください。
【Page2】	アプリケーション	アプリケーション ID を入力してください。
	フォルダー	フォルダー名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。 アプリケーション ID を入力してください。

※【Page2】は、Page を新規作成していくと、Page3、Page4・・・と表示されます。

3 iOS - アプリケーション

iOS 機器のアプリケーションに対する設定および、設定セットの作成を行います。「アプリケーション配信」「アプリケーション検知」に関しては、設定セットの作成後、機器一括設定および、機器ごとの設定にて適用してください。作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	ページ
VPP ライセンス	35
VPP 設定テンプレート	42
管理対象アプリポリシー	46
オリジナルアプリ登録	48
アプリケーション配信	51
アプリケーション検知	57

3.1 VPP ライセンス

Apple 社の提供する Volume Purchase Program (VPP) を利用して、App Store から提供されるアプリケーションや書籍のライセンス管理とアプリケーション配信、書籍配信を行います。当画面の「アプリケーション」タブまたは「書籍」タブからライセンスの残数、付与状況を確認し、各ユーザーまたは各機器にアプリケーションや書籍を割り当てることが可能です。

VPP ライセンスを管理するには、VPP ストアから VPP トークンをダウンロードする必要があります。

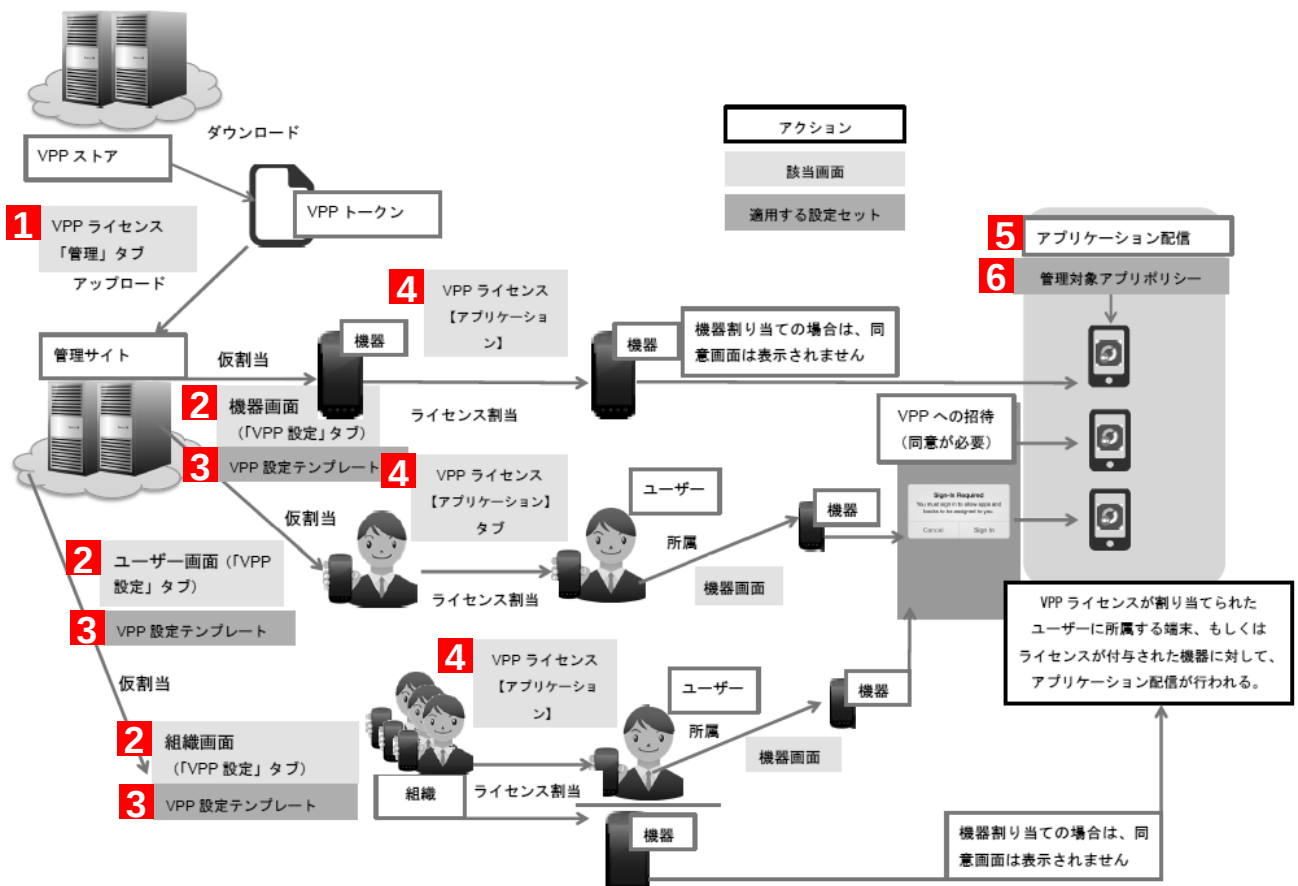
VPP ライセンスの管理には、本画面と「VPP 設定テンプレート」、「管理対象アプリポリシー」、「アプリケーション配信」画面、ユーザー画面(「VPP 設定」タブ)、組織画面(「VPP 設定」タブ)、機器画面(「VPP 設定」タブ)を使用します。各画面の役割と VPP アプリケーション配信と VPP 書籍配信のステップは以下の通りです。

※機器への VPP ライセンスの割り当ては、iOS9 以降の OS に対応しています。

iOS9 以前の端末に対して行った場合、VPP アプリケーション、VPP 書籍は配布されませんのでご注意ください。

※VPP 書籍配信の場合は、配信方法に機器を指定しての配信を指定することができません。ユーザー指定の配信のみとなります。そのためユーザーと機器の紐づけを事前に行ってください。

【VPP アプリケーション配信のステップ】



項番	対象	説明
1	VPP ライセンス(「管理」タブ)	VPP トークンのアップロード。アップロード済みのトークンファイルの有効期限の確認。詳細は 38 ページを参照してください。
2	ユーザー画面(「VPP 設定」タブ) 機器画面(「その他」タブ「VPP 設定」) 組織画面(「その他」タブ「VPP 設定」)	VPP テンプレートで作成したテンプレートを適用することで、VPP ライセンスを仮当てすることができます。詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 組織/ユーザー」の「ユーザー-VPP 設定タブ」を参照してください。
3	VPP 設定テンプレート	ユーザーと機器、組織を対象に VPP アプリケーションを配布する際のテンプレートを作成。詳細は 42 ページを参照してください。
4	VPP ライセンス(「アプリケーション」タブ)	VPP ライセンスの残数、保有数の確認。②で仮当てしたライセンスを実際にユーザーと組織に付与します。詳細は 16 ページを参照してください。
5	アプリケーション配信	「管理対象アプリポリシー」で作成したポリシーを適用し、配信対象のアプリケーションに VPP ライセンスを付与します。詳細は 51 ページを参照してください。
6	管理対象アプリポリシー	VPP 付与のポリシーを作成します。詳細は 46 ページを参照してください。

※VPP トークンファイルの詳細については、Apple 社の「Volume Purchase Program(VPP)」に関する情報を参照してください。

※本機能では VPP で購入したアプリのみを対象とします。

※VPP トークンの有効期限は 1 年間です。1 年に 1 回の更新が必要です。

※「組織」「ユーザー」または「機器」画面の「VPP 設定タブ」で割り当てたライセンスは、本画面の「アプリケーション」タブで、「未割当数」としてカウントされます。この状態では実際には付与されていません。画面上部の[更新]ボタンをクリックして付与を行います。

※VPP アプリケーションの配信、VPP ライセンスの割り当てについては、「管理サイト ユーザーマニュアル 付録」の「付録－VPP アプリケーションの配信手順」を参照してください。

VPP ライセンス画面

VPP ライセンス画面は「管理」タブと「アプリケーション」タブから設定を行います。

「管理」タブでは VPP トークンのアップロードを行い、「アプリケーション」タブでライセンスの割当を行います。

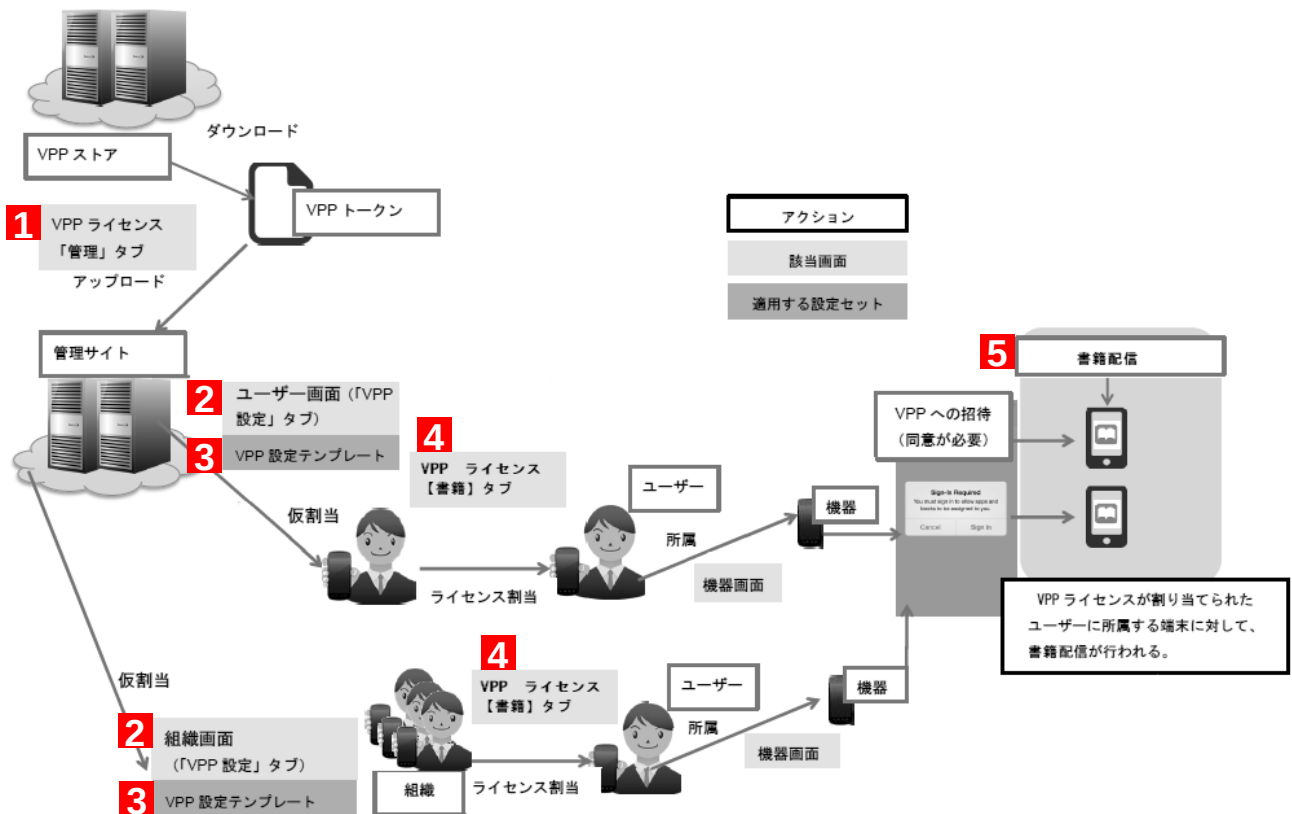
※「管理」タブに関しては以下を参照してください。

⇒管理タブ 38 ページ

※「アプリケーション」タブに関しては以下を参照してください。

⇒アプリケーションタブ 16 ページ

【VPP 書籍配信のステップ】



項番	対象	説明
1	VPP ライセンス(「管理」タブ)	VPP トークンのアップロード。アップロード済みのトークンファイルの有効期限の確認。詳細は 38 ページを参照してください。
2	ユーザー画面(「VPP 設定」タブ) 組織画面(「その他」タブ→「VPP 設定」)	VPP テンプレートで作成したテンプレートを適用することで、VPP ライセンスを仮当てすることができます。詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 組織/ユーザー」の「ユーザー→VPP 設定タブ」を参照してください。
3	VPP 設定テンプレート (任意)	ユーザーと組織を対象に VPP アプリケーションを配布する際のテンプレートを作成。詳細は 42 ページを参照してください。
4	VPP ライセンス(「書籍」タブ)	VPP ライセンスの残数、保有数の確認。②で仮当てしたライセンスを実際にユーザーと組織に付与します。詳細は 16 ページを参照してください。
5	書籍配信	ユーザーに紐づいた機器画面で同期すると、書籍が配信されます。

3.1.1 VPP ライセンス画面を表示する

VPP ライセンス画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [VPP ライセンス]をクリックします。

【管理】タブ

VPP トークンのアップロードを行います。

項番	対象	説明
1	アカウント名	ライセンスに関連付けるアカウント名を入力します。
2	トークン有効期限	VPP トークンの有効期限。
3	組織名	VPP トークンに関連付けられた組織名。
4	備考	VPP トークンの取得に使用した AppleID を記録しておくことで、管理を潤滑に行うことができます。
5	[編集]	登録されている VPP トークンを編集することができます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

【アプリケーション】タブ

アプリケーションタブでは、アプリケーション名、所持数などライセンスに含まれるアプリケーションに関する詳細が表示されます。またライセンスの仮当て対象ユーザー(または機器、組織)にライセンスの割当を行います。割当済みライセンスの回収も当画面で行うことが可能です。

VPP VPPtoken 管理 アプリケーション 書籍 操作 ▾		1 更新					
2	3	4	5	6	7	8	最終更新日時
Store ID	アプリケーション名	所持数	使用数	残数	未割当数	回収可能数	
		100	0	100	0	0	
		200	0	200	0	0	

項番	対象	説明
1	[更新]ボタン	ボタンをクリックして VPP ライセンスの割当、回収、同期を行います。更新を行うと、「未割当数」としてカウントされているユーザーまたは機器に対してライセンスが付与されます。更新が完了すると、「未割当数」のユーザーまたは機器はライセンス割り当て後に、「使用数」のユーザーまたは機器としてカウントされます。 また、「ユーザー」または「機器」「組織」画面の「VPP 設定」タブから削除された VPP ライセンスは回収(ライセンスの割り当て解除)されます。更新が完了すると、「回収可能数」の該当ユーザーまたは機器は、「残数」としてカウントされます。
2	Store ID	アプリケーションの Store ID。
3	アプリケーション名	VPP トークンに含まれるアプリケーションの名前。
4	所持数	保有するライセンスの総数。
5	使用数	保有するライセンスの内、ユーザーまたは機器に割り当てられたライセンスの数。使用数をクリックすると、使用数の内訳（ユーザー使用数、機器使用数）が表示されます。内訳のリンクより、該当ユーザー、該当機器の一覧を表示することができます。
6	残数	保有ライセンスの数から、割り当て済みのライセンス数を差し引いた残数。
7	未割当数	「ユーザー」または「機器」「組織」画面の「VPP 設定」タブからライセンスを仮当てられた、ユーザー数です。画面上部の[更新]ボタンをクリックして、ライセンスを付与してください。
8	回収可能数	「ユーザー」または「機器」「組織」画面の「VPP 設定」タブから削除された VPP ライセンスの数です。画面上部の[更新]ボタンをクリックして、ライセンスの回収を行ってください。

【書籍】タブ

書籍タブでは、書籍名、所持数などライセンスに含まれる書籍に関する詳細が表示されます。またライセンスの仮当て対象ユーザーにライセンスの割当を行います。

2	3	4	5	6	7
Store ID	書籍名	所持数	使用数	残数	未割当数
		200	0	200	0
		100	0	100	0
		5	0	5	0
		150	0	150	0
		3	0	3	0
		100	1	99	0

項番	対象	説明
1	[更新]ボタン	ボタンをクリックして VPP ライセンスの割当、同期を行います。 更新を行うと、「未割当数」としてカウントされているユーザーに対してライセンスが付与されます。更新が完了すると、「未割当数」のユーザーはライセンス割り当て後に、「使用数」のユーザーとしてカウントされます。 ※VPP による書籍配信の場合、管理者から一度配布した書籍を削除したり、ライセンスを回収することはできません。特に有償の書籍については誤って配信しないよう、配信先には十分に注意してください。
2	Store ID	書籍の Store ID。
3	書籍名	VPP トークンに含まれる書籍の名前。
4	所持数	保有するライセンスの総数。
5	使用数	保有するライセンスの内、ユーザーに割り当てられたライセンスの数。使用数をクリックすると、使用数の内訳（ユーザー使用数）が表示されます。内訳のリンクより、該当ユーザーの一覧を表示することができます。
6	残数	保有ライセンスの数から、割り当て済みのライセンス数を差し引いた残数。
7	未割当数	「ユーザー」画面の「VPP 設定」タブからライセンスを仮当てられた、ユーザー数です。画面上部の[更新]ボタンをクリックして、ライセンスを付与してください。

3.1.2 VPP ライセンスの設定セット入力値

VPP ライセンスの設定では以下の入力ルールで設定を行います。VPP ライセンスは 500 件まで登録できます。

項目名	ルール
【アカウント名】	VPP ライセンスに関連付けるアカウント名を指定します。 入力必須です。 設定内で重複はできません。 制御文字は入力できません。 30 文字以内で入力してください。
【VPP トークンアップロード】	アップロードする VPP トークンファイルを選択します。
【備考】	VPP トークンの取得に使用した AppleID を記録します。 制御文字は入力できません。 200 文字以内で入力してください。

3.2 VPP 設定テンプレート

アプリケーション用または書籍用の VPP を配布するための設定テンプレートを作成します。ユーザーと機器、組織の VPP 設定作成時に VPP 配布テンプレートを適用することで VPP 設定を簡単に行うことが可能です。

VPP 設定テンプレートを作成するには「VPP ライセンス」35 ページから、VPP トークンファイルをアップロードし、VPP アカウント名を登録します。トークンファイルに記述されたライセンス情報は、指定したアカウント名を通じて管理可能になります。この時登録したアカウント名を本画面のアカウント情報として選択することで、テンプレートを使用したライセンス管理が可能になります。作成したテンプレートを新規ユーザーと機器、組織の VPP 設定作成時に適用することで、VPP を使用したライセンスの付与が簡単になります。

※アプリケーションを配信する際には、VPP を介してインストールするよう指定する必要があります。「管理対象アプリポリシー」46 ページでアプリライセンスのポリシーを作成し、「アプリケーション配信」51 ページで作成したポリシーを選択してください。

※VPP トークンファイルの詳細については、Apple 社の「Volume Purchase Program(VPP)」に関する情報を参照してください。

3.2.1 VPP 設定テンプレート画面を表示する（アプリケーション）

アプリケーション用の VPP 設定テンプレートを画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [VPP 設定テンプレート]をクリックします。
3. [アプリケーション]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 テンプレート名

2 VPP管理配布登録

VPPライセンス

アプリケーション 書籍

3 VPPアプリライセンス付与

アプリケーション名

(+ボタンで追加: 2 件まで)

✓ 保存

項番	対象	説明
1	テンプレート名	・ VPP 設定テンプレートの設定名
2	VPP 管理配布登録	・ VPP ライセンス : 「VPP ライセンス」35 ページ で作成したアカウント名を指定します。
3	VPP アプリライセンス付与	VPP 設定テンプレートの適用により付与されるライセンスの詳細を表示します。 ・ アプリケーション名 : 編集画面ではプルダウンメニューからアプリケーションが選択可能です。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.2.2 VPP 設定テンプレート画面を表示する（書籍）

書籍用の VPP 設定テンプレートを画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [VPP 設定テンプレート]をクリックします。
3. [書籍]をクリックします。

項番	対象	説明
1	テンプレート名	・ VPP 設定テンプレートの設定名
2	VPP 管理配布登録	・ VPP ライセンス : 「VPP ライセンス」35 ページ で作成したアカウント名を指定します。
3	VPP 書籍ライセンス付与	VPP 設定テンプレートの適用により付与されるライセンスの詳細を表示します。 ・ 書籍名 : 編集画面ではプルダウンメニューから書籍が選択可能です。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.2.3 VPP 設定テンプレート入力値

VPP 設定テンプレートの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【テンプレート名】	設定セットの名称を指定します。 入力必須です。 設定内で重複はできません。 制御文字は入力できません。 30 文字以内で入力してください。	
【VPP ライセンス】	「VPP ライセンス」35 ページ で作成したアカウント名を指定します。	
【VPP アプリライセンス付与】	【アプリケーション名】	アプリケーションをプルダウンメニューより選択します。
【VPP 書籍ライセンス付与】	【書籍名】	書籍をプルダウンメニューより選択します。

3.3 管理対象アプリポリシー

以下のアプリケーションを配布する際に、本機能を利用します。

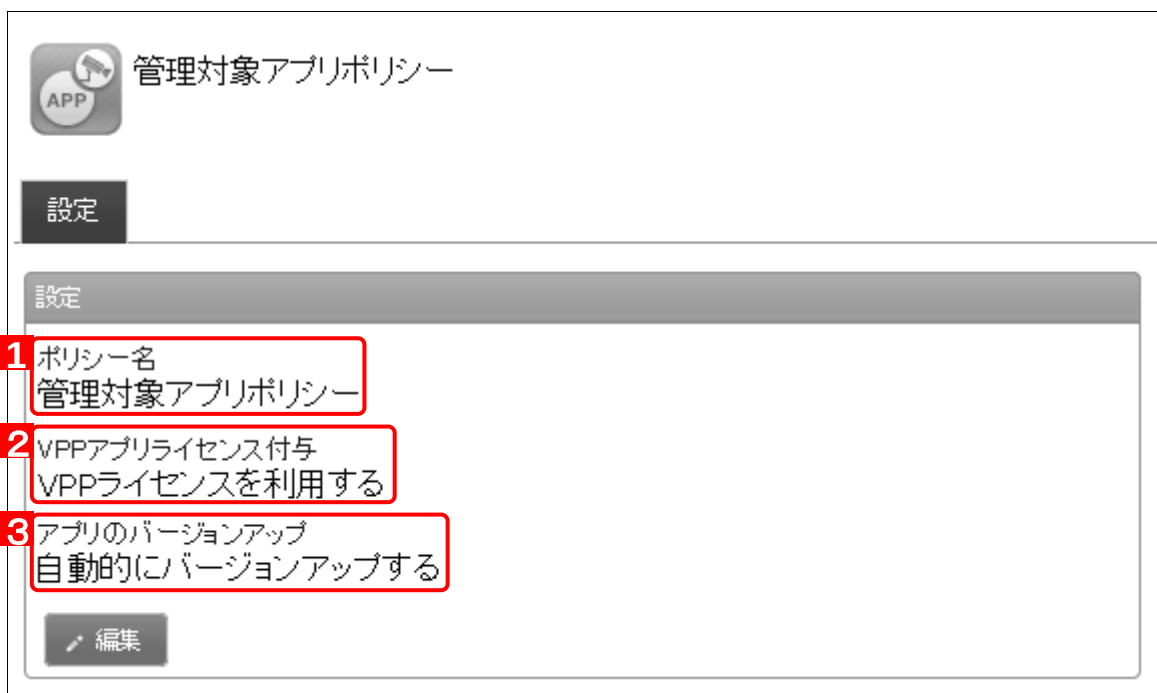
- ・ VPP ライセンスを付与したアプリケーション
- ・ 自動的にアプリのバージョンアップを行いたいアプリケーション

利用する項目にチェックを入れポリシーを作成し、アプリケーション配信画面で、該当のポリシーを選択します。各々のアプリケーション配布の詳細については、「アプリケーション配信」51 ページを参照してください。

3.3.1 管理対象アプリポリシー画面を表示する

管理対象アプリポリシー画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [管理対象アプリポリシー]をクリックします。



項番	対象	説明
1	ポリシー名	管理対象アプリポリシーの名前。
2	VPP アプリライセンス付与	チェックボックスをオンにすると、配信対象アプリに VPP アプリライセンスが付与されます。
3	アプリのバージョンアップ	チェックボックスをオンにすると、App Store アプリのバージョンアップがあった場合、端末と管理サーバーの同期時に自動的にアプリのバージョンアップが行われます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セツト作成方法」を参照してください。

3.3.2 管理対象アプリポリシーの設定セット入力値

管理対象アプリポリシーの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【ポリシー名】	ポリシー名を指定します。 入力必須です。 設定内で重複はできません。 制御文字は入力できません。 30 文字以内で入力してください。
【VPP アプリライセンス付与】	付与する場合にチェックボックスをオンにしてください。
【アプリのバージョンアップ】	自動的にアプリをバージョンアップする場合は、チェックボックスをオンにしてください。

3.4 オリジナルアプリ登録

アプリケーション配信でオリジナルアプリを配信する場合は、当画面で配信対象のアプリを事前に登録する必要があります。

3.4.1 オリジナルアプリ登録画面を表示する

オリジナルアプリ登録画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [オリジナルアプリ登録]をクリックします。

【設定】タブ

新規作成

アプリアップロード

設定

設定 - 編集

1 アップロード選択

☒ ipaファイルをアップロード

☐ マニフェストファイルをアップロード

ファイルを選択 選択されていません

※ipaファイルをアップロードを選択した場合
同封されているマニフェストファイルが自動で登録されます。

※マニフェストファイルをアップロードを選択した場合
オリジナルアプリを管理されているサーバに設置している場合にご利用ください。

2 アイコン

☒ あり ☐ なし

3 アイコン小(57×57ピクセルのPNG画像)

ファイルを選択 選択されていません

4 アイコン大(512×512ピクセルのPNG画像)

ファイルを選択 選択されていません

5 プロビジョニングプロファイル

ファイルを選択 選択されていません

※有効期限を管理する場合は、プロビジョニングプロファイルをアップロードしてください。

✓ 保存

項番	対象	説明
1	アップロード選択	登録対象とするオリジナルアプリのファイルを選択します。
2	アイコン	アイコンの有無を指定します。
3	アイコン小 (57×57 ピクセルの PNG 画像)	アイコンファイルを選択します。
4	アイコン大 (512×512 ピクセルの PNG 画像)	アイコンファイルを選択します。
5	プロビジョニングプロファイル	プロビジョニングプロファイルを選択します。 ※有効期限を管理する場合は、プロビジョニングプロファイルをアップロードしてください

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.4.2 オリジナルアプリを登録する

オリジナルアプリを登録します。登録には ipa ファイル、またはマニフェストファイルが必要となります。入力項目に関しては、「オリジナルアプリ登録の入力値」(50 ページ)を参照してください。

1. オリジナルアプリ登録画面を表示します。
2. [新規作成] をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※オリジナルアプリの登録の際に必要なファイルはアプリケーションプログラム(*.ipa)とマニフェストファイル(*.plist)です。

Xcode の Organizer で書き出す際に「Save for Enterprise Distribution」にチェックを入れます。「Application URL」は [http://test.com]などのダミーURL を入力します。また「Title」は利用者に表示されるアプリ名となりますので、アプリ名を入力してください。(その他の値は入れる必要はありません)

開発会社に依頼している場合は上記注意をお伝えいただければ、問題なく 2 つのファイルを納品いただけます。

(必要に応じてアイコン画像(57×57,512×512 の PNG 形式)もご用意ください。)

※アプリケーション ID が同一のオリジナルアプリは、以下の場合のみ登録できます。

- ・バージョンが異なる場合
- ・同一のアプリケーション ID でのオリジナルアプリの登録件数が 3 件以内の場合

※バージョンが異なる同一のアプリケーション ID のオリジナルアプリを登録する場合は、新規作成から最新版の ipa ファイルをアップロードしてください。

すでにアップロードされている設定を編集した場合は、そのアプリケーションが上書きされて最新になります。

3.4.3 オリジナルアプリ登録の入力値

オリジナルアプリ登録では以下の入力ルールで設定を行います。

※設定保存後は、アプリケーション名、アプリケーション ID およびバージョンが自動表示されます。

タブ名	項目名	ルール
【設定】タブ	アップロード選択	ファイルを選択します。 ・ ipa ファイルをアップロード：同封されているマニフェストファイルを自動で登録したい場合に選択します。 バージョンが異なるアプリケーションの場合、ipa ファイルをアップロードすることで上書き登録できます。 ・ マニフェストファイルをアップロード：オリジナルアプリを管理されているサーバに設置している場合に選択します。 登録対象アプリとペアとなるマニフェストファイルは、事前に準備しておく必要があります。
	アイコン	アイコンの有無を指定します。「あり」を選択した場合のみ後述のアイコン画像の指定が可能となります。 ・ あり：アイコンがある場合に選択します。 ・ なし：アイコンが無い場合に選択します。
	アイコン小(57×57 ピクセルの PNG 画像)	アイコン小(57×57 ピクセルの PNG 画像)を指定します。
	アイコン大(512×512 ピクセルの PNG 画像)	アイコン大(512×512 ピクセルの PNG 画像)を指定します。
	プロビジョニングプロファイル	プロビジョニングプロファイルを指定します。 ※有効期限を管理する場合は、プロビジョニングプロファイルを指定します。

3.5 アプリケーション配信

指定したアプリケーションのダウンロード案内を機器に通知することができます。

以下に示す配布方法は、アプリケーション配信設定セット作成までの流れを記載しています。設定セット作成後は、一括機器設定(「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器一括機器設定」を参照)および、機器ごとの設定(「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作—機器—設定—単一の機器に設定テンプレートを適用する」を参照)にて設定セットを適用し、アプリケーション配布を行ってください。

■iOS10 より、Apple 社の仕様変更により、構成プロファイルの以下の設定が端末に適用されている場合、オリジナルアプリについてポータルからのインストールができなくなりました。

「AppStore からの App のインストールを許可」を制限した場合

⇒ iOS10.0.0 以降でインストールできなくなりました。

「App のインストールを許可」を制限した場合

⇒ iOS10.0.1 以降でインストールできなくなりました。

回避方法としては、管理サイトから管理対象として配信を行ってください。

■オリジナルアプリを配布する場合

⇒まず、オリジナルアプリ登録画面(48 ページ)で、オリジナルアプリを登録します。次に、本画面の「オリジナルアプリ一覧」にて、登録したアプリケーションを選択します。

■App Store のアプリを配布する場合

⇒本画面の「App Store アプリ一覧」にて、Store ID を指定します。更新ボタンをクリックすることで、自動的にアプリケーション名が反映されます。

以下のアプリケーション配布はオプション機能を使用するものであり、アプリケーション配信の「アプリケーション管理」を利用している企業のみご利用いただけます。詳細は、管理者にお問い合わせください。

■管理対象アプリとしてアプリケーションを配布する場合

⇒本画面でアプリケーションを指定する際に「管理」にチェックを入れます。

※監視対象端末(「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「はじめに一用語集」を参照)の場合は、アプリケーションはサイレントインストールされます。

※監視対象端末を対象に非管理対象アプリケーションを管理対象アプリケーションとして再配布した場合、監視対象端末ではユーザーの許可を求めるポップアップメッセージは表示されません。

※管理対象アプリの詳細については、「アプリケーション配信の設定セット入力値」55 ページの「管理」欄を参照してください。

■VPP アプリライセンスを付与したアプリケーションを配布する場合

⇒詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 付録」の「付録—VPP アプリケーションの配信手順」を参照してください。

※アプリケーション配信を行うと、対象の iOS 端末に VPP アプリケーションによる割り当て許可を求める確認画面が表示されます(VPP アプリケーションの初回配布のみ)。端末ユーザーの同意後の同期が開始されると、VPP アプリケーションの配布が開始されます。また、ユーザーが同意を拒否した場合は、8 時間が経過した後の同期時に再度確認画面が表示されます。この確認画面の詳細については「iOS ユーザーマニュアル」の「VPP アプリケーションの割り当てを許可する」を参照してください。

■カスタム B2B アプリケーションを配布する場合

⇒カスタム B2B アプリケーションとは、取引先や社内だけに限定公開できる iOS のアプリケーションです。カスタム B2B アプリケーションの配布には、VPP アプリライセンスが必要です。詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 付録」の「付録－VPP アプリケーションの配信手順」を参照してください。

※カスタム B2B アプリケーションの配信は、iOS9.3.2 以降にのみ対応しています。また、ユーザーに VPP ライセンスを割り当てた場合、カスタム B2B アプリケーションと他の App Store アプリの同時配信はできません。同時配信を行う場合は、機器に VPP ライセンスを割り当ててください。

■App Store のアプリ配信で、アプリ配信後自動的にアプリのバージョンアップを行いたい場合

⇒まず、管理対象アプリポリシー画面(46 ページ) で「アプリのバージョンアップ」にチェックをいれ、ポリシーを作成します。本画面でアプリケーションを指定する際に、「管理」にチェックを入れ、「ポリシー」欄で、作成したポリシーを選択します。

3.5.1 アプリケーション配信画面を表示する

アプリケーション配信画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [アプリケーション配信]をクリックします。

 新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 オリジナルアプリ一覧

アプリケーション名	管理	バックアップ	ポリシー	
(+ボタンで追加: 600件まで)				+

※事前にオリジナルアプリ登録をおこなってください。「メニュー」→「オリジナルアプリ登録」から、オリジナルアプリを登録できます。
※「管理」および「バックアップ」はiOS 5.0.1以降のみ対応

3 App Storeアプリ一覧

更新

Store ID	アプリケーション名	管理	バックアップ	ポリシー	
	---	☐ 有効	☐ 許可	(設定なし)	✕
(+ボタンで追加: 300件まで)					+

※Store IDには、App StoreアプリケーションのURLに含まれるIDを入力してください。
URL「https://itunes.apple.com/jp/app/example/id<Store ID>?mt=8」の<Store ID>の部分になります。
※インストールするには、機器にApple IDが設定済みである必要があります。
※「管理」および「バックアップ」はiOS 5.0.1以降のみ対応

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	オリジナルアプリ一覧	配信するアプリを登録済みのオリジナルアプリより選択します。オリジナルアプリの登録方法は「オリジナルアプリ登録」48 ページを参照してください。 ※[追加] をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] をクリックすると、入力欄が削除されます。 ※1 設定あたり 600 件まで登録できます。
3	App Store アプリ一覧	App Store 上のアプリを配信する場合は、Store ID を指定します。Store ID を入力し、[更新] をクリックすると、アプリケーション名が表示されます。 ※[追加] をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] をクリックすると、入力欄が削除されます。 ※1 設定あたり 300 件まで登録できます。

※「オリジナルアプリ一覧」の「管理」の設定に関しては「アプリケーション配信の設定セット入力値」(55 ページ)の「管理」を参照してください。このチェックボックスにチェックを入れずにアプリを送信した場合、アプリのバージョンアップが正しく行えなくなる場合があります(既にインストールされていると判断されるため)。この場合、アプリケーションを一度削除してから、再度配信を行ってください。

※一つのアプリケーション配信設定セットに同一のアプリを登録することはできません。(バージョンが異なる同一のオリジナルアプリでも登録することはできません)

※バージョンの異なるアプリを複数登録する場合は別々のアプリケーション配信設定セットにアプリを登録してください。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.5.2 アプリケーション配信の設定セット入力値

アプリケーション配信の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。	
【オリジナルアプリ一覧】	端末へ配信するオリジナルアプリを設定します。	
	アプリケーション名	アプリケーション名とバージョンが表示されます。該当のアプリケーションを指定します。オリジナルアプリ登録 48 ページで登録したアプリケーションを指定可能です。設定保存後は、アプリケーション ID およびバージョンが自動表示されます。設定内で重複はできません。
	※以下、3 項目はオプションであり、アプリケーション配信の「アプリケーション管理」を利用している企業のみご利用いただけます。詳細は、管理者にお問い合わせください。	
	管理	管理対象アプリとして配信する場合は、チェックします。 ここにチェックを入れると、以下の3点が可能となります。 ・アプリケーションのデータのバックアップ制御 ⇒次項「バックアップ」を参照 ・アプリケーションとそれに関連付けられたデータを必要に応じて削除 ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－リモート操作－機器の管理領域のデータを削除する(iOS 機器)」を参照 また、ここにチェックが入っており、端末が監視対象端末(「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「はじめに－用語集」を参照)の場合は、アプリケーションはサイレントインストールされます。
	バックアップ	アプリケーションのデータを iTunes または iCloud にバックアップすることを許可する場合は、チェックします。「管理」にチェックが入っている場合のみ指定可能です。※アプリインストール後にバックアップの「許可/禁止」の設定内容の変更はできません。変更する場合は、アプリのアンインストール/インストールを行ってください。
	ポリシー	本サービスでは、入力する必要はありません。
【App Store アプリ一覧】	端末へ配信する App Store アプリを設定します。	
	Store ID	Store ID を指定します。入力後に[更新]、または[保存]をクリックすると以降の情報を自動取得して表示します。 設定内で重複はできません。 半角数字のみ入力できます。 0 以上 2147483647 以下で入力してください。
	アプリケーション名	アプリケーション名を表示します。 Store ID 入力後に[更新]、または[保存]をクリックして自動取得してください。
	サイズ	サイズを表示します。 Store ID 入力後に[更新]、または[保存]をクリックして自動取得してください。
	バージョン	バージョンを表示します。 Store ID 入力後に[更新]、または[保存]をクリックして自動取得してください。
	詳細	詳細を表示します。 Store ID 入力後に[更新]、または[保存]をクリックして自動取得してください。
	※以下、3 項目はオプションであり、アプリケーション配信の「アプリケーション管理」を利用している企業のみご利用いただけます。詳細は、管理者にお問い合わせください。	

大項目名	小項目名	ルール
	管理	管理：管理対象アプリとして配信する場合は、チェックします。ここにチェックを入れると、以下の3点が可能となります。 ・アプリケーションのデータのバックアップ制御 ⇒次項「バックアップ」を参照 ・アプリケーションとそれに関連付けられたデータを必要に応じて削除 ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－リモート操作－機器の管理領域のデータを削除する(iOS 機器)」を参照 ・VPP アプリライセンスを付与したアプリケーションを配布することが可能(※別途、管理対象アプリポリシー(46 ページ)の指定等が必要です。) また、ここにチェックが入っており、端末が監視対象端末(「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「はじめに－用語集」を参照)の場合は、アプリケーションはサイレントインストールされます。
	バックアップ	アプリケーションのデータを iTunes または iCloud にバックアップすることを許可する場合は、チェックします。「管理」にチェックが入っている場合のみ指定可能です。
	ポリシー	「管理対象アプリポリシー」46 ページで作成したポリシーを指定することで、VPP アプリライセンスを適用することが可能です。

3.6 アプリケーション検知

機器のアプリケーション一覧を取得し、指定した条件と一致するアプリケーションを検知し、ログ表示する機能です。機器に指定するアプリケーションがインストールされていないことを確認する(インストール推奨アプリケーション)、もしくは、指定するアプリケーションがインストールされていることを確認する(インストール非推奨アプリケーション)ことができます。アプリケーションの検知は、機器ごとに1日1回ランダムなタイミングで実行します。

※プリインストールアプリは検知対象外です。

3.6.1 アプリケーション検知画面を表示する

アプリケーション検知画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [アプリケーション検知]をクリックします。

 新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 インストール推奨アプリケーション

アプリケーション名	アプリケーションID	バージョン条件	
		全て	✕
(+ボタンで追加: 50件まで)			+

※検知対象アプリケーションのバージョンがピリオド「.」区切りの数字でない場合、バージョン条件は無視されます。

3 インストール非推奨アプリケーション

アプリケーション名	アプリケーションID	バージョン条件	
		全て	✕
(+ボタンで追加: 50件まで)			+

※検知対象アプリケーションのバージョンがピリオド「.」区切りの数字でない場合、バージョン条件は無視されます。

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	インストール推奨アプリケーション	・アプリケーション名：アプリケーション名を入力します。(アプリケーション名はお好きなものを入力してください。) ・アプリケーションID：アプリケーションIDを入力します。(アプリケーションIDは機器のアプリケーション詳細情報画面で確認してください。詳細情報画面の表示方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－アプリケーションの詳細を確認する(iOS 機器)」を参照してください。) ・バージョン条件：バージョン条件を設定します。 ※[追加]  をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除]  をクリックすると、入力欄が削除されます。 《入力例》 ABC アプリのバージョン 2.0 以上を推奨アプリケーションにする場合 アプリケーション名：ABC アプリ アプリケーションID：abcxxxxxxx バージョン条件：≥2.0
3	インストール非推奨アプリケーション	・アプリケーション名：アプリケーション名を入力します。(アプリケーション名はお好きなものを入力してください。) ・アプリケーションID：アプリケーションIDを入力します。(アプリケーションIDは機器のアプリケーション詳細情報画面で確認してください。詳細情報画面の表示方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－アプリケーションの詳細を確認する(iOS 機器)」を参照してください。) ・バージョン条件：バージョン条件を設定します。 ※[追加]  をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除]  をクリックすると、入力欄が削除されます。 《入力例》 ABC アプリのバージョン 2.0 未満を非推奨アプリケーションにする場合 アプリケーション名：ABC アプリ アプリケーションID：abcxxxxxxx バージョン条件：<2.0

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.6.2 アプリケーション検知の設定セット入力値

アプリケーション検知では以下の入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。	
【インストール推奨アプリケーション】	インストールを推奨するアプリケーションを登録します。	
	アプリケーション名	入力必須です。 60文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
	アプリケーション ID	入力必須です。 60文字以内で入力してください。 半角英数字、「.」、「-」のみ入力できます。
	バージョン条件	入力必須です。 255文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
【インストール非推奨アプリケーション】	インストールを推奨しないアプリケーションを登録します。	
	アプリケーション名	入力必須です。 60文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
	アプリケーション ID	入力必須です。 60文字以内で入力してください。 半角英数字、「.」、「-」のみ入力できます。
	バージョン条件	入力必須です。 255文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。

※アプリケーション ID の調べ方は以下を参考にしてください。

ご要望のアプリをインターネット検索して、iTunes プレビューというサイトを探してください。URL の中に、AppStoreID が
ございます。

例) iBooks

<https://itunes.apple.com/jp/app/id364709193>

AppStoreID : 364709193

アプリケーション ID は、上記の AppStoreID と、AppleAPI の SearchAPI を使って検索することが可能です。ただし、IE では、
スクリプトエラーが発生するため、Google Chrome など他のブラウザをご利用ください。

AppStoreID 確認後、以下の URL にアクセスすると各種情報が表示されます。URL の末尾には上記で確認した AppStoreID を
指定してください。表示された情報のうち、「bundleId」という項目が App ID になります。

例) iBooks

<http://itunes.apple.com/lookup?country=JP&id=364709193>

4 Apple Push 証明書

iOS 機器の Apple Push 証明書を登録します。

設定項目名	ページ
Apple Push 証明書登録	61

4.1 Apple Push 証明書登録

4.1.1 Apple Push 証明書を登録する

端末を管理するには、Apple Push 証明書の登録が必要です。手順に従い、Apple Push 証明書の登録を行ってください。

※Apple Push 証明書を登録するために管理者用の「Apple ID」が必要になります。

※既に Apple Push 証明書が登録されている場合は、登録済みの証明書と異なるトピック値を持つ証明書をアップロードすることはできません。異なるトピック値の証明書を使用する際は、70 ページ「■Apple Push 証明書を削除する」から既存の証明書の削除を行ってください。

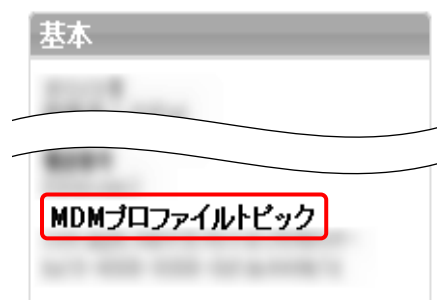
※Apple Push 証明書の有効期限は 1 年間です。有効期限が切れる前に、必ず Apple Push 証明書の更新を行ってください。

⇒Apple Push 証明書を更新する 66 ページ

※iOS が失効する 60 日前より管理者等にメール通知を行うこともできます。

⇒ログメール通知を新規作成する（「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「管理ー通知設定ーログメール通知を新規作成する」を参照）

・サーバーに配置された Apple Push 証明書と機器に割り当てられた証明書のトピック値が異なる場合は、機器の管理や情報の取得を行うことはできません。



各機器に割り当てられたトピック値は上記の「機器」画面の「機器」タブ内の機器詳細画面から確認可能です。

機器のトピック値が表示されるのは、2015 年 3 月 28 日以降に認証された機器となります。2015 年 3 月 28 日以前に認証された機器のトピック値は「(Unknown)」として表示されます。

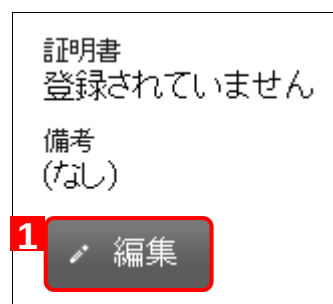
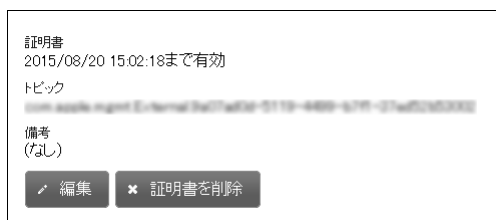
1

1. ページリンクの[メニュー]をクリックします。
2. [Apple Push 証明書登録]をクリックします。



2

1. [編集]をクリックします。
- ※既に登録されている場合は以下のような画面が表示されます。



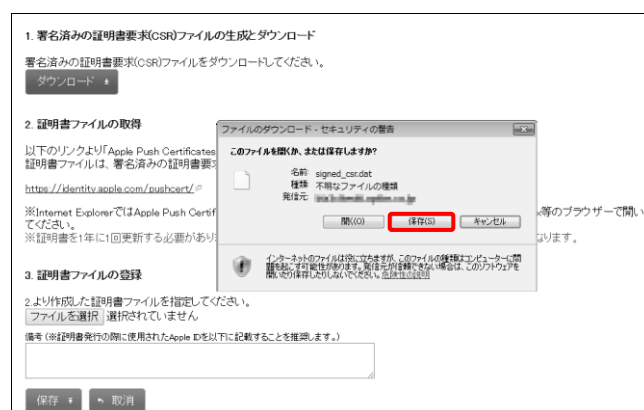
3

1. [ダウンロード]をクリックします。

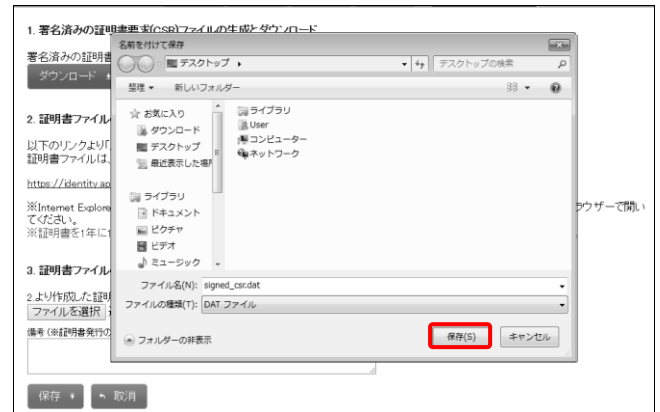


4

1. 確認画面が表示されます。[保存]をクリックします。



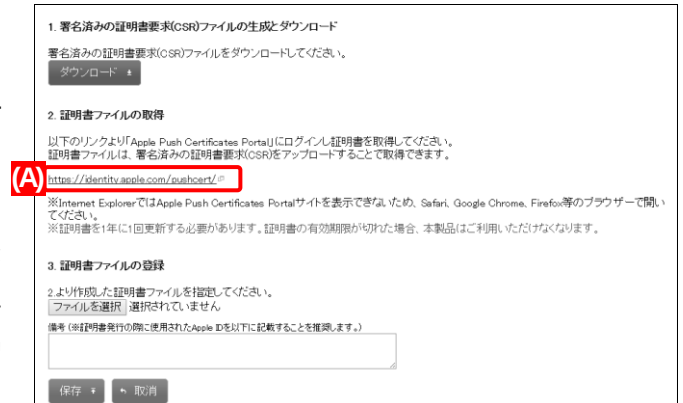
5 お好きな場所(デスクトップなど)を選択し[保存]をクリックします。



6 Apple Push Certificates Portal サイト(A)を開きます。

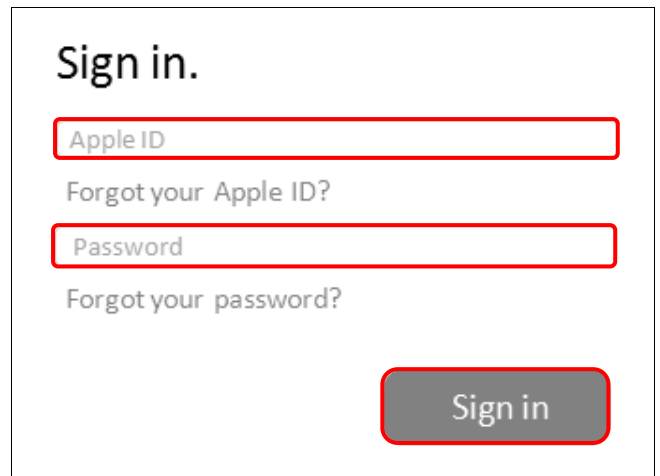
※Internet Explorer では Apple Push Certificates Portal サイトを表示できないため、Safari、Google Chrome、Firefox 等のブラウザで開いてください。

※証明書発行の際に使用された Apple ID は、お忘れになりませんようご注意ください。証明書の更新(1 年に 1 回)の際に必要となります。証明書の有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。



※手順 7～14 は Apple Push Certificates Portal サイトになります。画像はイメージです。

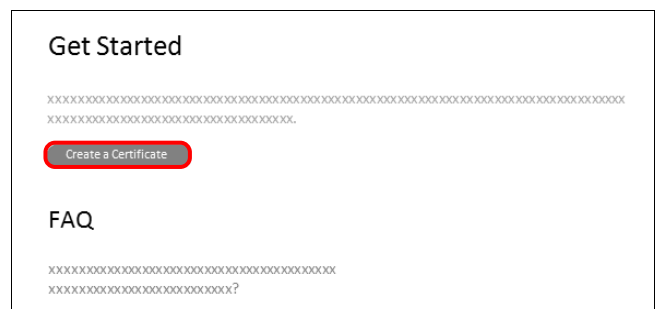
7 Apple ID と Apple ID のパスワードを入力し[Sign in]をクリックします。



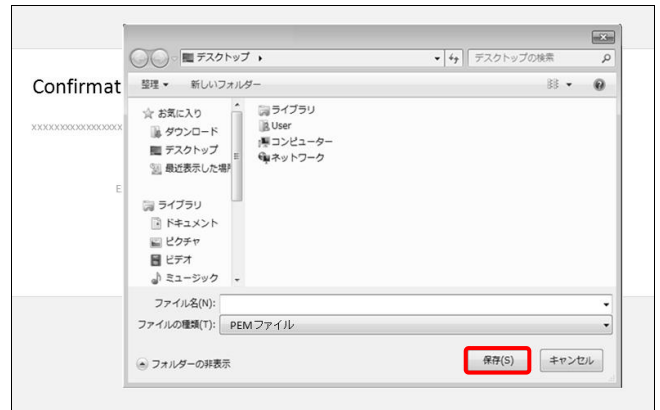
8 [Create a Certificate]をクリックします。

すでに証明書が作成されている場合は、以下のような画面が表示されます。[Create a Certificate]をクリックします。

Certificates for Third-Party Servers				
Service	Vendor	Expiration Date*	Status	Actions
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	Jan 1, 2013	Active	Renew Download Revoke
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	Jan 1, 2013	Active	Renew Download Revoke
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	Jan 1, 2013	Active	Renew Download Revoke



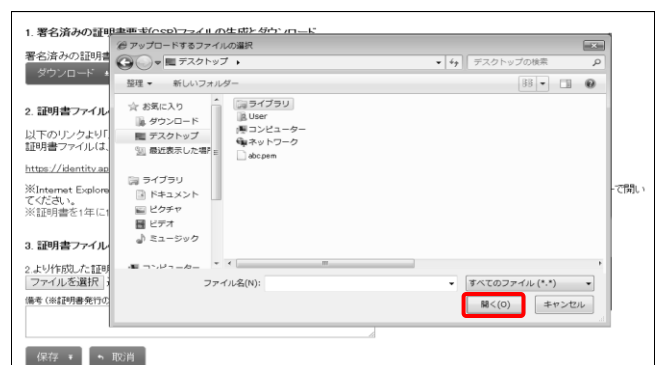
14 お好きな場所(デスクトップなど)を選択し[保存]をクリックします。



15 管理サイトの[ファイルを選択]をクリックします。



16 Apple Push Certificates Portal で作成した証明書ファイルを選択し[開く]をクリックします。

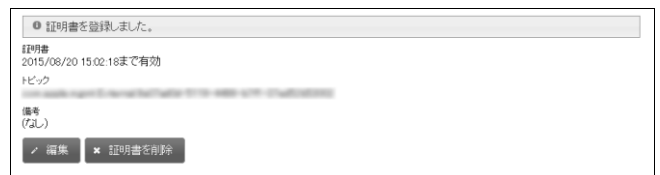


17 選択した証明書ファイル名が青枠内に表示されます。「備考」欄には、任意の文字列を登録できます。以下のように証明書発行の際に使用された Apple ID を登録することが推奨されています。

Apple ID: xxxx@example.com 更新者:xxxx 更新日:2014/10/01

よろしければ[保存]をクリックします。

18 Apple Push 証明書の登録が完了しました。



4.1.2 Apple Push 証明書を更新する

Apple Push 証明書の更新は以下の手順に従って行います。Apple Push 証明書の有効期限が切れた場合、構成プロファイルでの制御ができなくなり、リモートロック、リモートワイプ等の機能が使用できなくなります。有効期限が切れる前に、Apple Push 証明書の更新を行ってください。Apple Push 証明書を更新後、機器側での操作は特に必要ありません。

※Apple Push 証明書が失効する 60 日前より、トップページの Apple Push 証明書の有効期限の表示が赤字になります。

※Apple Push 証明書の更新には、前回ご利用いただいた Apple ID および証明書をご利用ください。

前回と違う証明書を登録してしまうと、全ての機能が使えなくなります。トピックの値を確認し、必ず同じ証明書を使用してください。(詳細は、手順 2、8 を参照してください。)

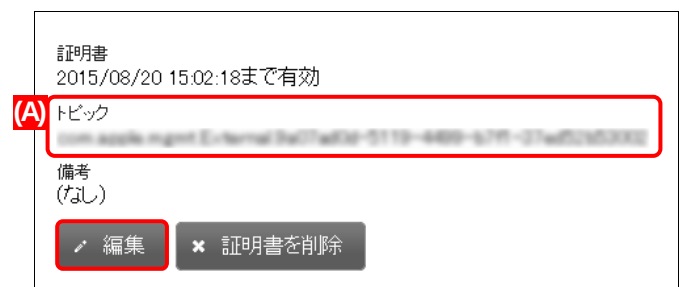
※Apple Push 証明書を新規に取得した場合は、機器側で再度、構成プロファイルをインストールする必要があります。

構成プロファイルのインストール方法は、「iOS ユーザーマニュアル」の「ライセンス認証(プロファイルのインストール)を行う」を参照してください。

1. ページリンクの[メニュー]をクリックします。
2. [Apple Push 証明書登録]をクリックします。



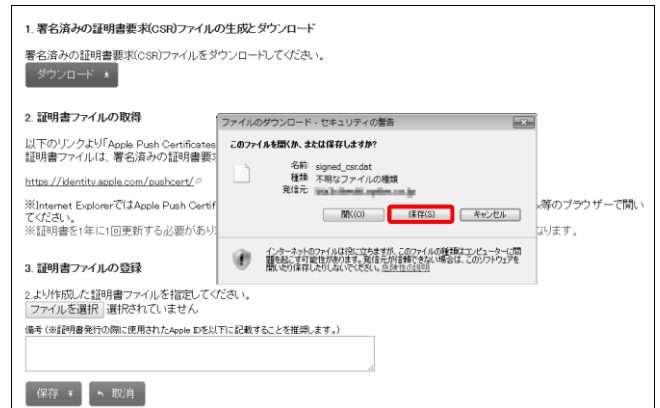
- 2 [編集]をクリックします。
※「トピック」(A)の値は、証明書の確認に必要となります
(手順 8)。書き留めておくことをお勧めします。



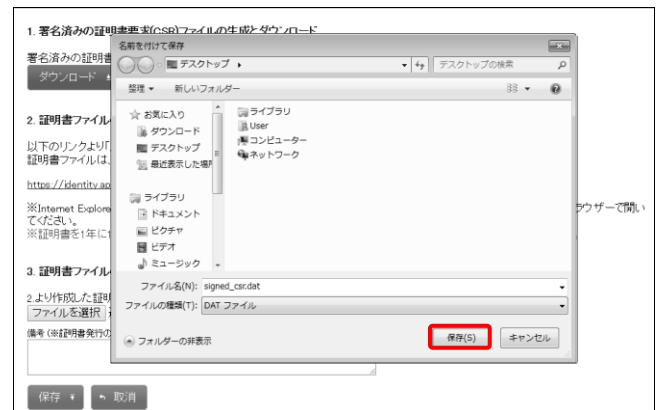
- 3 [ダウンロード]をクリックします。



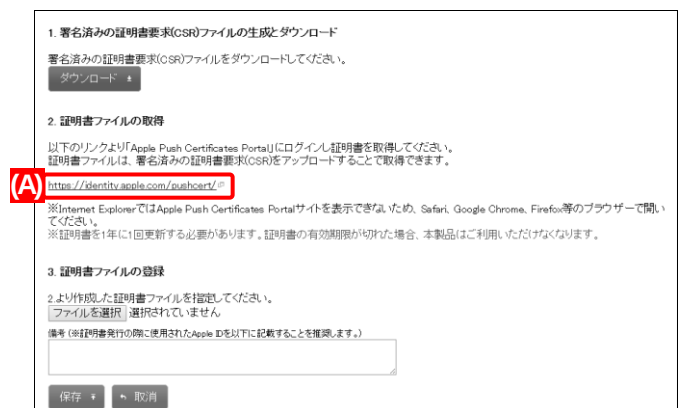
4 確認画面が表示されます。[保存]をクリックします。



5 お好きな場所(デスクトップなど)を選択し[保存]をクリックします。

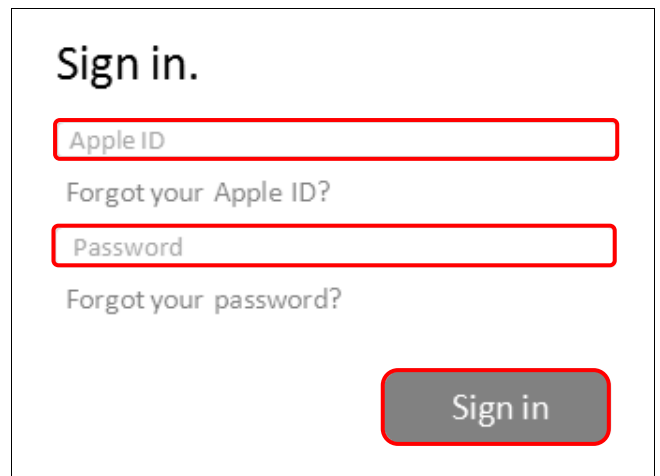


6 Apple Push Certificates Portal サイト(A)を開きます。
※Internet Explorer では Apple Push Certificates Portal サイトを表示できないため、Safari、Google Chrome、Firefox 等のブラウザーで開いてください。



※手順 7～13 は Apple Push Certificates Portal サイトになります。画像はイメージです。

7 Apple ID と Apple ID のパスワードを入力し[Sign in]をクリックします。



8

更新する証明書(前回登録した証明書)の[Renew]をクリックします。

※[i] (A)をクリックすると、証明書の詳細情報が表示されます。"UID="の後に書いてある値とトピックの値が同じであることを確認し、更新する証明書に誤りがないかを確認してください。トピックの値は、手順 2 の画面に表示されています。



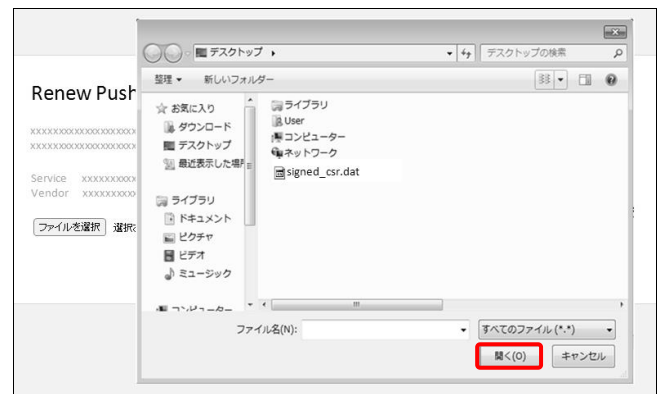
9

[ファイルを選択]をクリックします。



10

管理サイトよりダウンロードしたファイルを選択し[開く]をクリックします。



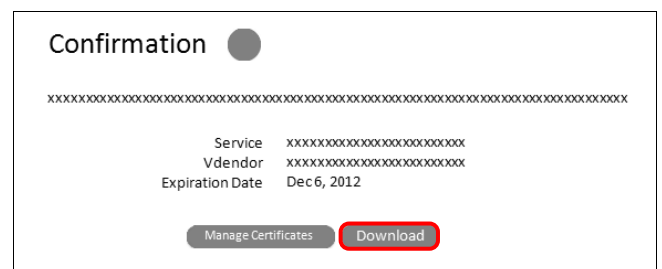
11

選択したファイル名が青枠内に表示されます。よろしければ[Upload]をクリックします。



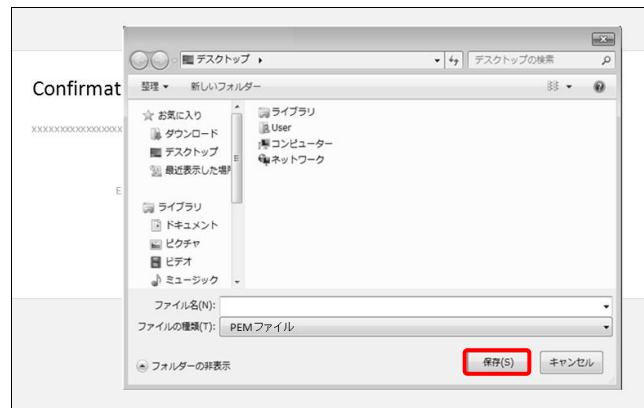
12

証明書が更新されました。
[Download]をクリックします。



13

お好きな場所(デスクトップなど)を選択し[保存]をクリックします。



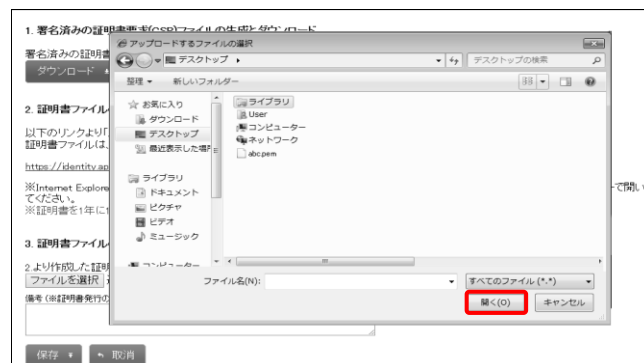
14

管理サイトの[ファイルを選択]をクリックします。



15

Apple Push Certificates Portal で作成した証明書ファイルを選択し[開く]をクリックします。



16

選択した証明書ファイル名が青枠内に表示されます。

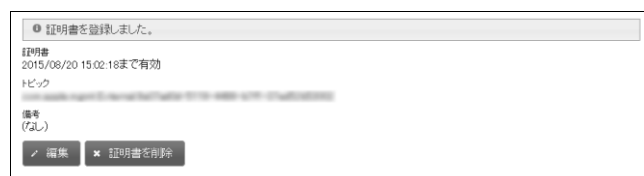
「備考」欄には、任意の文字列を登録できます。以下のように証明書発行の際に使用された Apple ID を登録することが推奨されています。

Apple ID: xxxx@example.com 更新者:xxxx 更新日:2014/10/01



17

よろしければ[保存]をクリックします。
Apple Push 証明書の更新が完了しました。



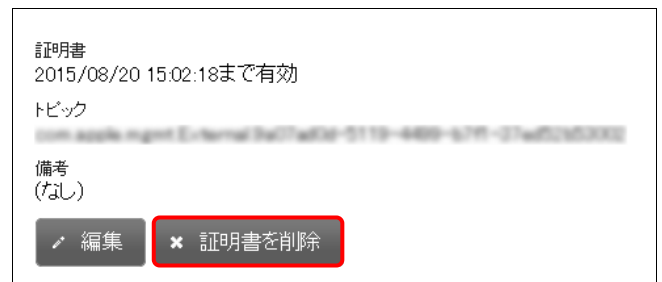
4.1.3 Apple Push 証明書を削除する

登録済みの証明書と異なるトピック値を持つ証明書を使用する際は、既存の Apple Push 証明書の削除が必要です。
Apple Push 証明書の削除は以下の手順に従って行います。

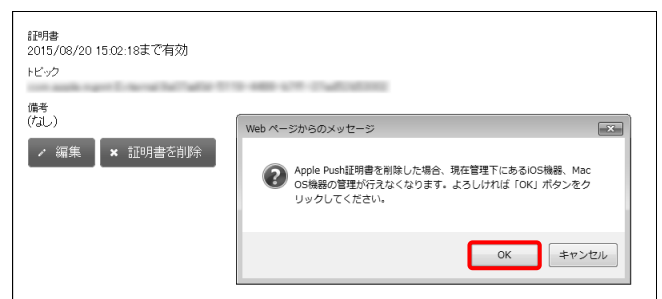
1. ページリンクの[メニュー]をクリックします。
2. [Apple Push 証明書登録]をクリックします。



2. [証明書を削除]をクリックします。



3. 確認メッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。



4. 証明書が削除されました。

※証明書の削除は完了しましたが、証明書の「備考」セクションは削除されていません。必要な場合は[編集]から備考の削除を行ってください。

